TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名 PDR-M81

東芝デジタルスチルカメラAllegretto M81 (PDR-M81)を安全に、正しく使っていただくために、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつでも手元において ご使用ください。



Allegretto M81

本書をお読みになる前に

このたびは東芝デジタルスチルカメラ Allegretto M81 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めの製品を正しく使っていただくためにお使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

商標について

・Macintoshは、Apple Computer,Inc.の商標です。
・MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
・SmartMedia、スマートメディアは株式会社 東芝の商標です。
・その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ、テレビなどへの電波障害について

・この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の読み方

お知らせ・お願い

・データの消失や故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メ　モ

・知っておくと便利なことです。

☞ 参照先を示します ➲ P.XX

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

目的別マップ

Allegretto には、簡単な撮影方法から、自分で細かく設定する方法まで色々な方法があります。また、撮影するだけではなく、その他に便利な機能もたくさんあります。次の「目的別マップ」をご覧になりながら、Allegretto を使ってみましょう。

最初にお読みください

Allegrettoを使う準備をしましょう
（P.19～P.38）

まず、基本操作を覚えましょう

撮影しましょう

再生しましょう

STEP1－再生しましょう（P.80）

STEP2－色々な再生方法が選べます

- 動画を再生する（P.81）
- ズーム再生する（P.84）
- 自動再生する（P.85）
- 簡易動画再生する（P.86）
- 画像を一覧表示する（P.83）
- 画像の詳細情報を表示する（P.116）

カメラの基本設定をしましょう

- 日時を設定する（P.111）
- フォーマットする（P.91）
- 液晶モニターの明るさを調節する（P.115）
- 液晶モニターの表示を切り替える（P.117）
- 液晶モニターを消す（P.117）
- 電子音（ピピッ）を消す（P.111）
- フォルダを切り替えたい（P.92）
- 画像の色を設定する（カラー／白黒／セピア）（P.77）
- 電源の自動オフ時間を変更する（P.110）
- 液晶モニターの言語を変える（P.112）

消去しましょう

STEP1－消去しましょう（P.87）

STEP2－その他にも消去方法があります

- フォルダと画像をいちどに消去する（P.89）
- フォルダをすべて消去する（P.89）
- フォーマットする（P.91）

こんな機能があります

～便利な機能を使いこなそう～

- 画像を消去しないようにする（P.106）
- 撮影した画像のサイズを変更する（P.94）
- 撮影した画像を再圧縮する（P.96）
- 別のスマートメディアへコピーする（P.98）
- 現像（プリント）情報を書き込む（P.102）
- 画像の詳細情報を表示する（P.116）
- 液晶モニターの表示を切り替える（P.117）
- テレビを使って撮影／再生する（P.119）

画像をパソコンへ取り込む

画像をパソコンへ取り込む（P.121）、別冊の『パソコンインターフェース取扱説明書』

もくじ

（　）内は Allegretto M81 での機能名です。

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

再 生

（　）内は Allegretto M81 での機能名です。

消去

便利に

その他

付 録

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表　示	表示の意味
⚠ 危 険	“誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って発生する可能性のあること”を示します。
⚠ 警 告	“誤った取扱いをすると人が死亡するまたは重傷を負う可能性のあること”を示します。
⚠ 注 意	“誤った取扱いをすると人が傷害*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性のあること”を示します。

＊1：　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。

＊2：　物的損害とは、家屋・家財などにかかわる拡大損害をいいます。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠	**禁止**（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	**強制**（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

免責事項について

●地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

⚠危険

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。


禁止

電池をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。


禁止

電池は指定された用途にのみ使用すること

指定以外の用途に使用すると、電池の破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。


強制

⚠ 警告

異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。


電源プラグをコンセントから抜け

異物や水などが機器の内部に入ったときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。


電源プラグをコンセントから抜け

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。


電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警告 －つづき－

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。


禁止

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。


水ぬれ禁止

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。


風呂、シャワー室での使用禁止

金属類や燃えやすい物など異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。スマートメディアカバーを開けて内部に異物を入れたり、落とし込んだりしないでください。


禁止

⚠警告 ーつづきー

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。 修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。


分解禁止

雷が鳴りだしたら電源配線・テレビ配線に触れないこと

感電の原因となります。


接触禁止

歩行中、自動車、オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。


禁止

指定の電池、指定の AC アダプターを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・故障・誤動作の原因となります。


強制

⚠警告 ーつづきー

電池は幼児の手の届く場所に置かないこと

電池をお子さまが飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。


禁止

電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。


強制

AC アダプターは、表示された電源電圧（AC100V-120V）で使用すること

指示電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。


強制

⚠注 意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。



湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。



車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



布や布団の上に置いたり、おおったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。



⚠注 意 ーつづきー

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電・故障の原因となることがあります。



お手入れするときは、電池や AC アダプターをはずすこと

取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは電池や AC アダプターをはずすこと

火災の原因となることがあります。



電池の極性表示（＋とーの向き）に注意し、正しく入れること

入れ方を間違えると、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



⚠注意 −つづき−

同梱の電池は充電しないこと

液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。


強制

電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池は入れておかないこと

液もれ・破裂などにより、やけど・けが・故障の原因となることがあります。


強制

新しい電池と古い電池、種類の異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ・破裂などにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。


強制

持ち運ぶときに振り回さないこと

ストラップに手を通したまま本体をぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。


禁止

⚠注意 −つづき−

ファインダーを通して太陽を見ないこと

目を痛める原因となることがあります。


禁止

目の近くでストロボを発光させないこと

一時的な視力障害の原因となることがあります。


禁止

液晶モニターに衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。


禁止

２年に１度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください

機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。


強制

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

本製品の取り扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲ P.8）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

●次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

●砂がかからないようにしてください

砂は本製品の大敵です。砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

●結露にご注意ください

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がついたときは、本体から取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

●お手入れするときは

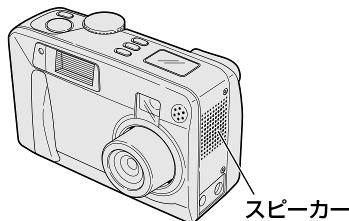
・レンズ、液晶モニター表面、ファインダーなどは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
・本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●海外で使うときは

・本製品は国内仕様のため、付属している保証書は国内に限られています。旅行先で万一、故障や不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のお買い上げ店にご相談ください。
・空港で預ける旅行カバンなどに本製品を入れないでください。荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部部品の故障の原因となることがあります。

●磁気にご注意

・本機のスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データがこわれて、使用できなくなる場合があります。



電池について

·本機の性能を充分に引き出すために、単３形ニッケル水素電池、単３形リチウム電池の使用を推奨いたします。
·アルカリ電池は使用可能ですが、個体差による寿命のバラツキが大きく、しかも低温時は性能が低下するために撮影枚数が極端に少なくなることがあります。
·本機に付属しているアルカリ電池は購入時の動作確認用ですので、寿命が短い場合があります。
·単３形マンガン電池はご使用できません。
·本機は電源ＯＦＦの状態でも微弱ながら電流を消費しますので、使用しない場合は 電池を取り外しておくことをおすすめします。ただし、日付・時刻が初期設定に戻ることがありますので、ご使用時には再度設定してください。

電池の取り扱いについて

 **警 告**

電池に表示された警告、注意を必ず守ること
電池の破裂・液もれにより、火災・けが・故障の原因となることがあります。

■ 使用する電池は、
- 指定以外の電池は使用しないこと
- 極性［(+）と（−)］を間違えて挿入しないこと
- 加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
- 同梱の電池は充電しないこと
- 充電式電池をご使用になる場合は、電池及び充電器の説明書をよくお読みになり、正しく取り扱うこと（本機では充電できません）
- 電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかないこと
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池をまぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
電池内部の液がもれたときは、液に触れないでください。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないように拭き取ってください。

AC アダプターの取り扱いについて

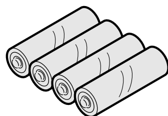
本機には、必ず指定の AC アダプター（PDR-ACM1J)(別売)をご使用ください。それ以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲ P.8）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

・AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
・接続するときは、コードのプラグを本体の DC IN 5V 端子にしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
・接続コードを抜くときは、本体の電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
・落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
・高温多湿のところでは使用しないでください。
・電池動作中に AC アダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
・AC アダプターは室内専用です。
・AC アダプターは指定の機器以外には使用しないでください。
・使用中、AC アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
・内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。
・本体が動作中に電池または AC アダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください（➲ P.111）。

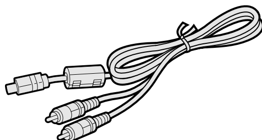
付属品

本製品をご使用になる前にご確認ください。

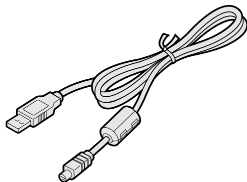
アルカリ電池（単3電池）（4本）



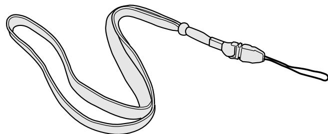
AVケーブル（1本）



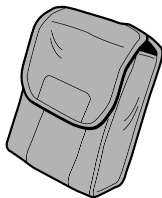
USBケーブル（1本）



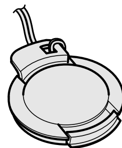
ネックストラップ（1本）



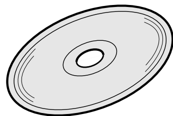
カメラケース（1）



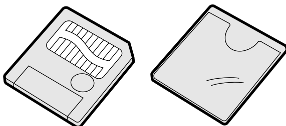
レンズキャップ（1）



CD-ROM（1枚）

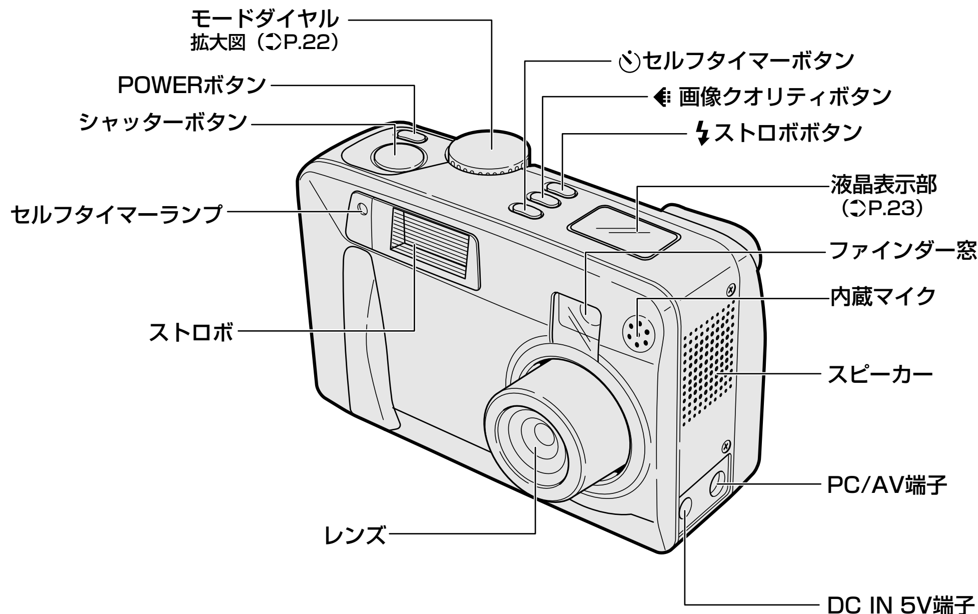


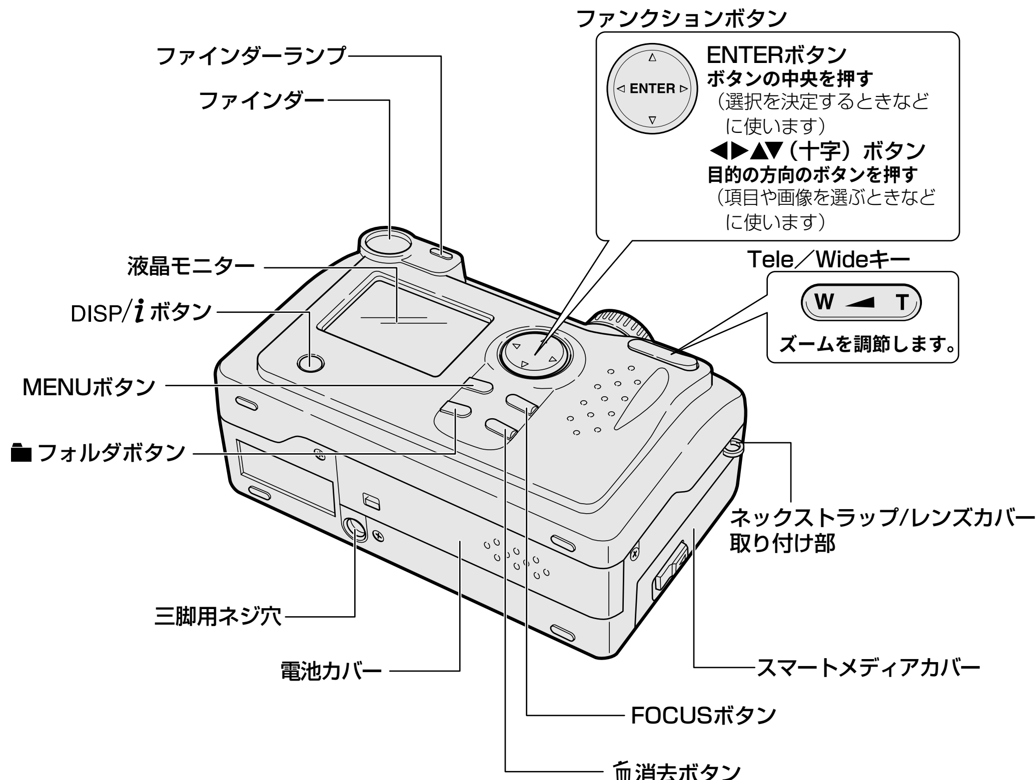
- **スマートメディア（8MB）（1）**
- **スマートメディアケース（1）**



- **取扱説明書（本書）**
- **パソコンインタフェース取扱説明書**
- **保証書**
- **ユーザー登録ハガキ**
- **サービスセンター一覧**

各部の名称


モードダイヤル
拡大図（⇨P.22）
POWERボタン
シャッターボタン
セルフタイマーランプ
ストロボ
レンズ
セルフタイマーボタン
画像クオリティボタン
ストロボボタン
液晶表示部
（⇨P.23）
ファインダー窓
内蔵マイク
スピーカー
PC/AV端子
DC IN 5V端子

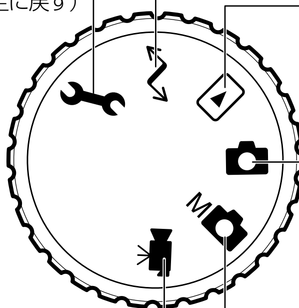

ファンクションボタン
ENTERボタン
ボタンの中央を押す
（選択を決定するときなどに使います）
◀▶▲▼（十字）ボタン
目的の方向のボタンを押す
（項目や画像を選ぶときなどに使います）
ENTER
Tele／Wideキー
W T
ズームを調節します。
ファインダーランプ
ファインダー
液晶モニター
DISP/i ボタン
MENUボタン
フォルダボタン
ネックストラップ/レンズカバー取り付け部
三脚用ネジ穴
電池カバー
スマートメディアカバー
FOCUSボタン
消去ボタン

モードダイヤル

SET-UPモード（➲P.109）
カメラの基本設定
（オートパワーオフ時間／ビープ音／日時設定／モニターの言語選択／ビデオ出力設定／画像のクオリティ、サイズを設定する／初期設定に戻す）を行います。

PCモード（➲P.121）
画像をパソコンに取り込みます。
詳細について
➲ 別冊の『パソコンインターフェース 取扱説明書』

再生モード（➲P.80）
画像の再生、コピー、サイズ変更、圧縮、消去禁止、プリント情報の書き込みなどを行います。



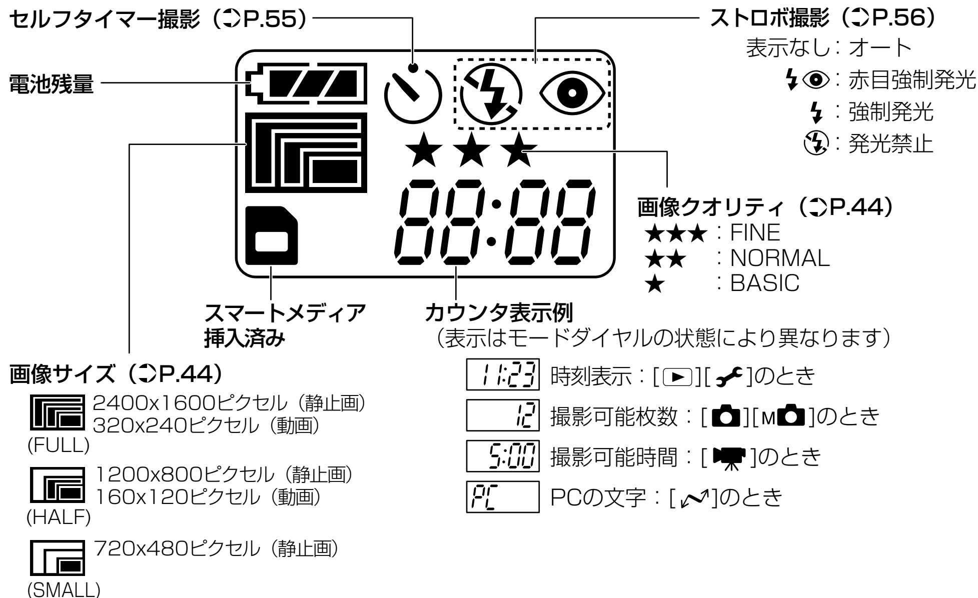
オート撮影モード（➲P.41、46）
状況別の自動撮影ができます。カメラが自動的に露出（シャッター速度と絞りの組み合わせ）などを制御するので、簡単に撮影できます。

動画モード（➲P.75）
動画を撮影します。

マニュアル撮影モード（➲P.58）
白バランス、露出、絞り値、シャッター速度、AE（自動露出合わせ）位置などを手動で設定します。

液晶表示部

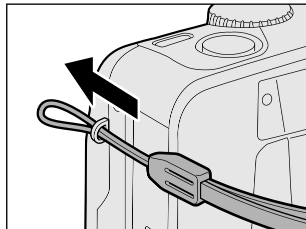
本体の状態を表示します。液晶モニターを ON にしていなくても、本体の状態を確認できます。表示される文字、数字、アイコンなどは、設定により異なります。



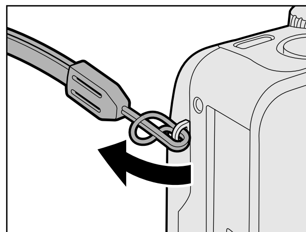
ネックストラップをつける

本体にネックストラップをつけると、持ち運びのときなどに便利です。
また、撮影時は落下を防ぐため、ネックストラップを首にかけて、本体をお持ちください。

1 取り付け部に、ネックストラップの先端を通す



2 先端部をネックストラップに通し、引っ張る



お知らせ・お願い

- 本機をご使用にならないときは、必ず付属のレンズキャップを取り付けてください。
- 上記手順 1、2 と同じ要領で、レンズキャップを取り付け部につなぎ止めることで紛失防止ができます。
- 本機の電源を切り、レンズが本体に納まった状態でレンズキャップを取り付けてください。
- レンズキャップを取り付けたままで電源を入れないでください。

電池を装着する

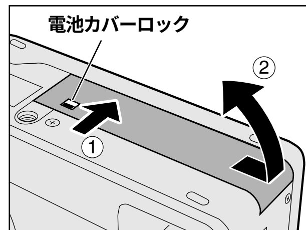
本カメラは単３電池（４本）を使用します。電池の取り扱いについては、P.16 を必ずお読みください。

電池を入れる

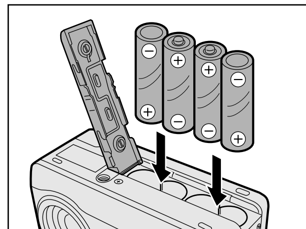
お知らせ・お願い

・電池の出し入れは必ず電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で、電池の出し入れを行うと、日時設定が初期値に戻ったり、カメラの設定（SET-UP ➲ P.109、マニュアル設定 ➲ P.58）がリセットされます。

1 電池カバーロックをはずし①、カバーをずらし、開ける②

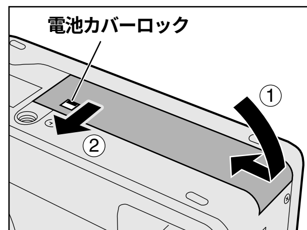


2 右の図のように正しい向きで電池を入れる



3 電池カバーを閉め、スライドし①、ロックする②

電池カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。



電池をはずす

入れるときの手順と同じようにはずしてください。

お知らせ・お願い

・電池をはずすときは、誤って落下させないよう気をつけてください。

電池の消耗

電源が入っているときは、液晶モニターや液晶表示部に電池残量が表示されます。

液晶モニター	液晶表示部	電池の残量
		電池残量十分
		電池残量少し減った
		電池残量わずか 早目に新しい電池と交換する
		電池残量なし（電源が入らない） 新しい電池と交換する

メモ

- 初めて使うとき、または電池を入れずに長時間放置したときは、日時設定（➲ P.111）を行ってください。
- 電池がなくなった状態で、電池交換を行う場合、AC アダプターを差し込まないでください。電池残量のチェックが正常に機能しなくなります。
- 電池残量は、カメラの液晶部、ストロボ、撮影、再生に必要な電気量に基づいて算出されています。カメラ操作に必要な充分な量がない時には、まだ電池残量が少しあっても液晶表示部は残量なしとなります。
- **電池持続時間の目安**

  新品のアルカリ電池で、連続して撮影、再生できるコマ数／時間の目安です。
  ただし、本体の使用環境温度や撮影する画像のサイズ、画質、ズームの使用率によって異なります。

  撮影時（常温においてストロボ使用率 100% の場合）
  液晶モニター ON の状態............. 約 240 コマ
  液晶モニター OFF の状態........... 約 300 コマ

  再生時（スライドショー連続動作時間）
  約 110 分

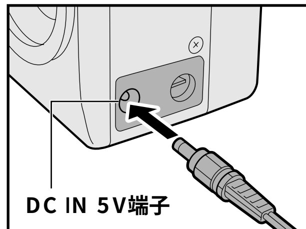
AC アダプターを使う

屋内などコンセントがある場所では、AC アダプター（別売品：PDR-ACM1J）を使うと、長時間の撮影ができます。また、電池消耗による撮影の失敗やパソコンへのデータ伝送の失敗などを防ぐことができます。AC アダプターの取り扱いについては、P.18 を必ずお読みください。

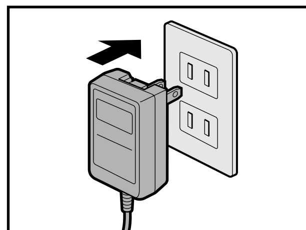
お知らせ・お願い

・ACアダプターの抜き差しは必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行うと、カメラの設定（SET-UP ➲ P.109、マニュアル設定 ➲ P.58）がリセットされたり、故障の原因となることがあります。

1 AC アダプターの接続プラグを本体の DC IN 5V 端子に差し込む



2 AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む



メモ

・電池が装着され、すでに電源が入っている状態で、AC アダプタを差し込むと、カメラレンズが自動的におさまり、電源が切れます。その時は再び電源を入れてください。
・ACアダプタが差し込まれ、すでに電源が入っている状態で、電池を入れても影響はありません。しかし、電池を入れたあと、AC アダプタを抜くと、カメラレンズがおさめられないまま、電源が自動的に切れます。その時は再び電源を入れてください。

スマートメディアについて

スマートメディアとは、撮影した画像を保存しておくための記憶媒体です。電源を切っても撮影した画像が消えず、繰り返し書き込みや消去ができます。
本製品では次の容量のスマートメディアを使用できます。お買い求めのうえ、ご使用ください。

2MB ／ 4MB ／ 8MB ／ 16MB ／ 32MB ／ 64MB ／ 128MB（すべて 3.3V タイプ）

また、別売の PC カードアダプターやフロッピーディスクアダプター（➲ P.122）と接続して、PC カードやフロッピーディスクとして使用し、画像をパソコンに取り込むことができます。

ご使用上のお願い

- スマートメディアのセットや取り出しは電源を切った状態で行ってください。
- 次の場合、記録したデータが消滅することがあります。弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - お客様または第三者がスマートメディアの使い方を誤ったとき
  - スマートメディアが静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - スマートメディアへ記録動作中・消去動作中・フォーマット動作中にスマートメディアを取り出したり、電源を切ったとき
- 大切なデータは別のメディア（フロッピーディスク、ハードディスク、MO ディスクなど）にコピーして、保存されることをおすすめします。
- 画像の記録・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定以外のスマートメディアを使用しないでください。無理にご使用になると本製品の故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。またズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに壊れるおそれがあります。

- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの電極部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは、かわいた柔らかい布などで拭いてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。
- 長時間お使いにならないときは、本体からスマートメディアを取り出して保管してください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合は、いったん電源を切ってから再び電源を入れ直してください。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが暖かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアにも寿命があります。長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合は、新しいものをお求めください。
- インデックスラベルは付属のものをご使用ください。市販のラベルを貼ると、スマートメディアを出し入れする際、故障の原因となります。

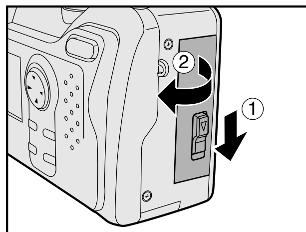
スマートメディアをセットする

1 POWERボタンを押し、電源を切る

☞ 電源を切る ➲ P.38

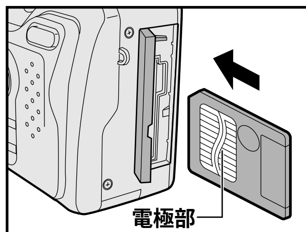
2 スマートメディアカバーのノブを矢印方向にスライドする①

カバーが開きます②。



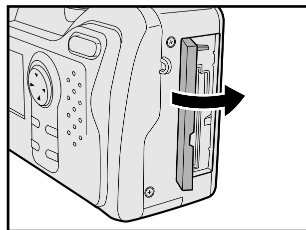
3 スマートメディアの電極部（金色の部分）をカメラの背面に向け、ゆっくり奥まで押し込む

しっかり奥まで差し込んでください。



4 スマートメディアカバーを閉める

新しいスマートメディアを使うときは、必ずスマートメディアのフォーマット（➲ P.91）を行ってください。



スマートメディアを取り出す

お知らせ・お願い

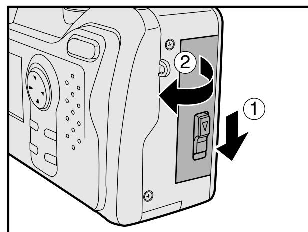
・スマートメディアへ記録中（ファインダーランプが赤色に点灯中）は、絶対にスマートメディアカバーを開けたり、スマートメディアを取り出さないでください。スマートメディア、またはスマートメディアのデータが破壊されることがあります。

1 POWER ボタンを押し、電源を切る

☞ 電源を切る ➲ P.38

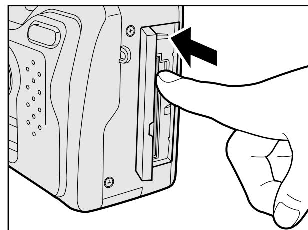
2 スマートメディアカバーのノブを矢印方向にスライドする①

カバーが開きます②。

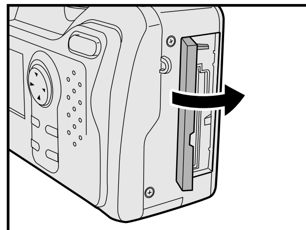


3 スマートメディアを奥へ押し込み、つまんで取り出す

スマートメディアをいったん奥に押し込むと、スマートメディアが少し手前に出てきます。指でつまんで取り出してください。

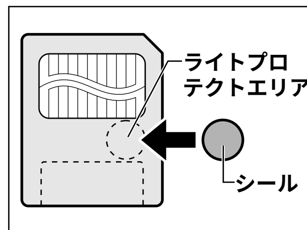


4 スマートメディアカバーを閉める



誤記録防止について

大切なデータを誤って消さないために、ライトプロテクトシールをライトプロテクトエリアにはってください。記録・消去ができなくなります。記録・消去するときは、シールをはがします。



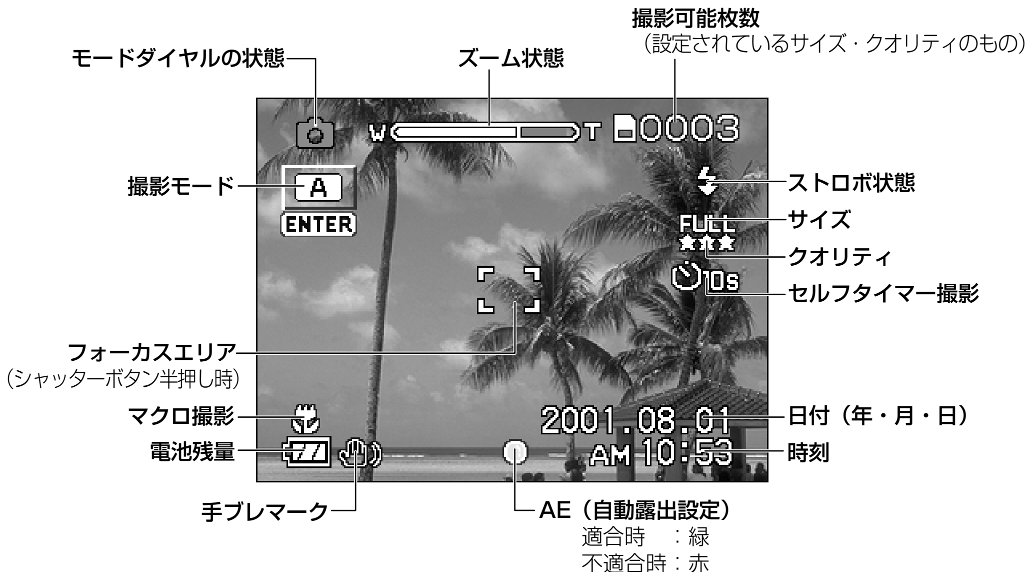
お知らせ・お願い

・シールが汚れていると誤記録防止が機能しないことがあります。かわいた柔らかい布などで、汚れをふきとってください。はがしたシールの再利用はできません。

液晶モニターの表示（撮影時）

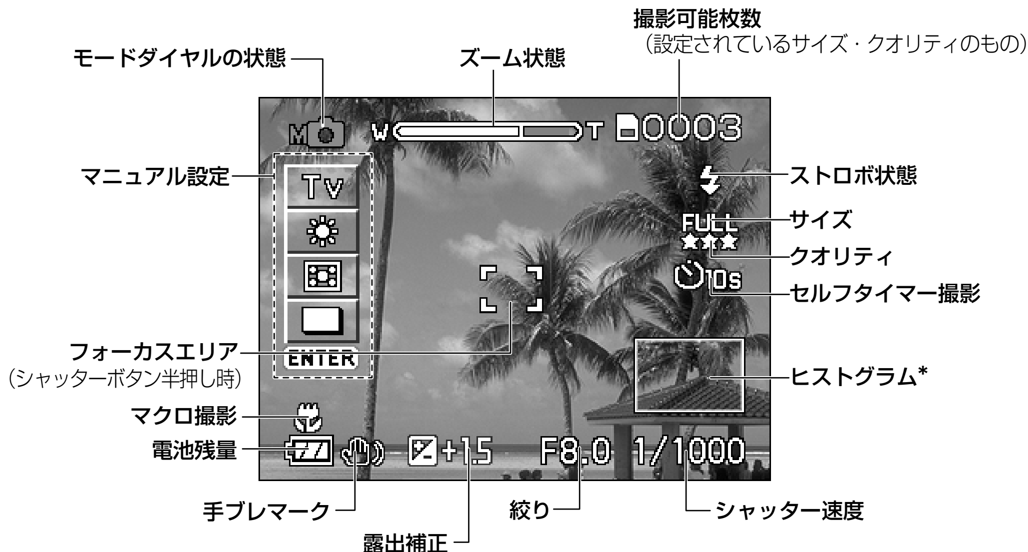
表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。
液晶モニターは OFF に設定しても、必要に応じて、自動的に ON になります。
［ ▶ ］再生モード時については P.116 をご覧ください。

［ 📷 ］のとき



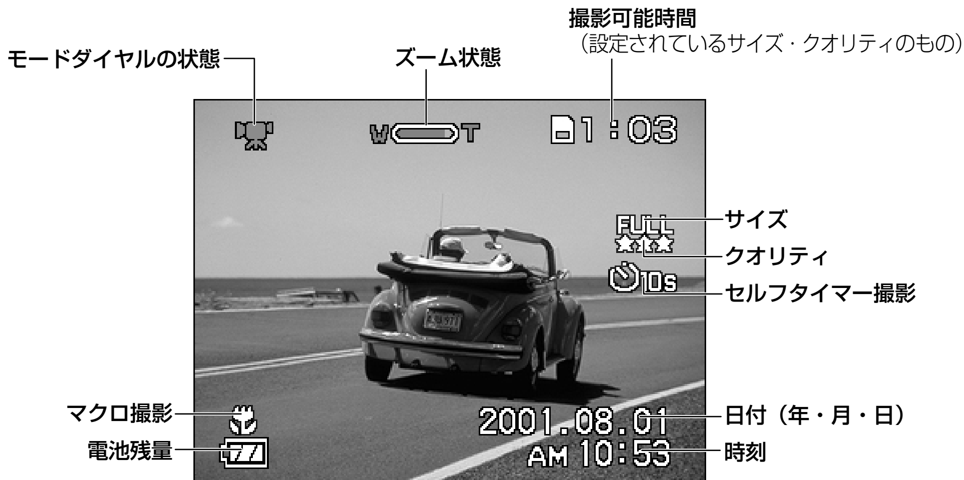
準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

[M] のとき



＊ ヒストグラム
被写体の色調の分布をグラフ表示したものです。ヒストグラムの横軸は明るさを（左側が暗、右側が明）、縦軸は各明るさのレベルでのピクセル数を表しています。

[🎥] のとき



メ モ

- 被写体の画像の細かさなどによって、記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らない場合があります。
- 記録後やモード切り換え後に、表示が一瞬乱れることがありますが、撮影には影響ありません。

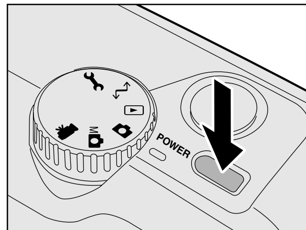
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 スマートメディアがセットされているか確認する（➲ P.31）

2 POWER ボタンを押し、電源を入れる

電源を入れたら、モードダイヤルを目的のモードに合わせてください。
撮影するときは、レンズキャップをはずしてください。
撮影のモード（[📷] [M📷] [🎥]）にすると、レンズが出てきます。
電源を入れるとオートパワーオフ機能がはたらきます。



お知らせ・お願い

・一定の時間（初期設定：約 1 分）何の操作もしないと、電池の消耗を防ぐため電源が切れた状態になります。これをオートパワーオフ状態といいます。通常の状態に戻すには、電源を再投入してください。
☞ オートパワーオフ機能について ➲「オートパワーオフ（P.110）」

電源を切る

1 POWER ボタンを押し、電源を切る

電源が切れます。
カメラを使用しないときはレンズキャップをはめておいてください。

構えかた

撮影するときは本体をしっかり持ち、レンズ、ストロボに指やストラップがかからないようにしてください。

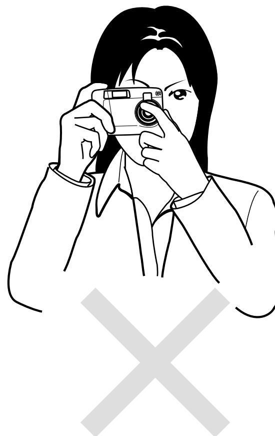
良い例

両手でカメラを持ち、脇をしっかりしめる



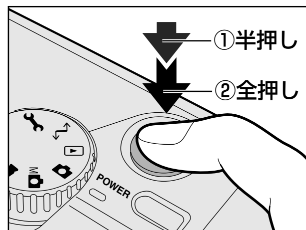
悪い例

レンズに指がかかっている



シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、２段階（半押し→全押し）になっています。半押しでAF（自動ピント合わせ）とAE（自動露出制御）を行い、全押しで撮影されます。



1 半押し（軽く押して、途中でとめる）①

AF（自動ピント合わせ）・AE（自動露出制御）（➲付録 用語）が作動します。
AF・AEロックすると、ビープ音（➲P.111）が鳴り、ファインダーランプが緑点灯します。

2 全押し（さらに押し込む）②

撮影されます。
スマートメディアへ記録中は、ファインダーランプが赤点灯します。

お知らせ・お願い

・記録中はスマートメディアカバーを開けたり、スマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアまたはデータが破壊されることがあります。

メ モ

・シャッターボタンを半押ししてから、フォーカスが合うまでの間、液晶モニターの画像が暗くなる場合があります。
・画枠の中央以外にピントや露出を合わせたいときは、目的の被写体を画枠の中央に移動し、半押し（AF・AEロック）状態にしたまま、構図を戻して全押し（撮影）します。
・シャッターボタンを押すときカメラが動くと、写真がブレる原因となります。
・本製品は正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。
  ・高速で移動する被写体
  ・鏡・車のボディーなど光沢があるもの
  ・コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき
  ・被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
  ・被写体が遠くて暗いとき
  ・被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
  ・髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
  ・煙や炎などの実体のないもの
  ・ガラス越しの被写体
・フォーカスが合わない場合、無限遠の位置でフォーカスを固定します（ストロボ使用時は約1.5mの位置で固定します。マクロ撮影時は至近距離に合わせます）。

撮影する（オート撮影）

一般的な撮影方法です。撮影状況に応じて、自動的に露出（シャッター速度と絞りの組み合せ）を制御するので、簡単に撮影できます。撮影方法にはファインダーを使った撮影と液晶モニターを使った撮影があります。

ファインダーを使う

1 撮影の準備をする

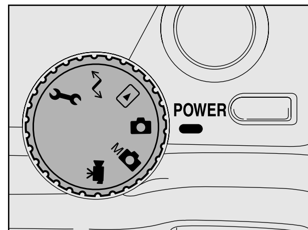
指定の電池（➲ P.25）とスマートメディア（➲ P.31）を本体に入れてください。

2 POWER ボタンを押し、電源を入れる

☞ 電源を入れる ➲ P.38

3 モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせる

レンズキャップをあらかじめ外してください。
レンズキャップを外さない場合、エラーメッセージが表示されます。（➲ P.129）

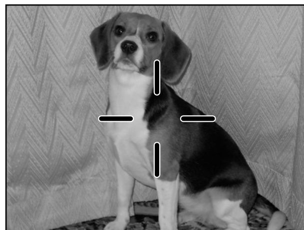


4 液晶モニターを OFF にする（➲ P.117）

電池の消耗を少なくするためには、液晶モニターの表示を消し、ファインダーを使って撮影することをおすすめします。

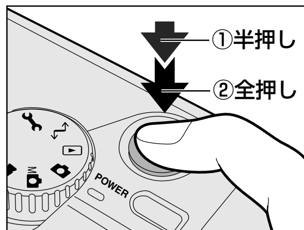
5 ファインダーをのぞき、構図を決める

ファインダーを使って撮影する場合、撮影範囲が、実際に撮影される画像と異なる場合があります。この場合は液晶モニターをお使いください。



6 シャッターボタンを半押し①、全押し②する

・半押しで自動的にピントと露出を合わせ、全押しで撮影されます。
・静止画を撮影する場合、撮影プレビュー（➲ P.77）を「ON」に設定していると、プレビュー画像が 2 秒間表示されます。
・スマートメディアへの画像の記録中には、ファインダーランプが赤点灯します。



液晶モニターを使う

1 撮影の準備をする

指定の電池（➲ P.25）とスマートメディア（➲ P.31）を本体に入れてください。

2 POWER ボタンを押し、電源を入れる

☞ 電源を入れる ➲ P.38

3 モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせる

4 液晶モニターを見ながら構図を決める

☞ 液晶モニターの明るさ調節 ➲ P.115



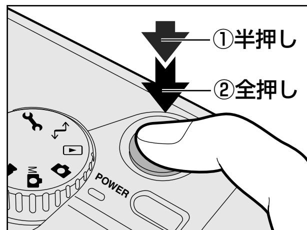
5 シャッターボタンを半押し①、全押し②する

・半押しで自動的にピントと露出を合わせ、全押しで撮影されます。

・ピントと露出が合うと、ファインダーランプが緑点灯し、AE アイコンが緑になります。

・静止画を撮影する場合、撮影プレビュー（➲ P.77）を「ON」に設定していると、プレビュー画像が 2 秒間表示されます。

・スマートメディアへの画像の記録中には、ファインダーランプが赤点灯します。



メ モ

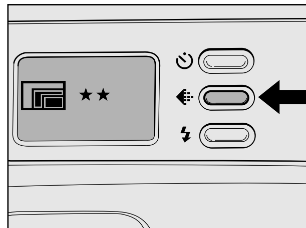
・液晶モニターには、常に明るい点、暗い点、色がついている点などが見える場合がありますが、故障ではありません。また、記録される画像には、このような点はありません。

画像のサイズとクオリティを設定する

撮影する画像のサイズ（画素数）とクオリティ（圧縮率）を設定します。
画像の使用目的やスマートメディアの空き容量などに応じて設定を変更してください。

1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］のいずれかに合わせる

2 液晶表示部を見ながら、画像クオリティボタンで、あらかじめ設定しておいたクオリティ／サイズを選ぶ



☞ クオリティ／サイズの設定について ➲ P.112

画像クオリティボタンを押すと、設定が次の順番で切り替わります。



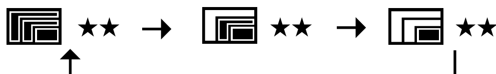
初期設定：

設定 1: ★★ (FULL ★★)

設定 2: ★★ (HALF ★★)

設定 3: ★★ (SMALL ★★)

を選択した場合、次の順番で表示されます。



<クオリティ>

[★★★]	FINE	：1/5（JPEG）圧縮	（静止画）
[　★★]	NORMAL	：1/7.5（JPEG）圧縮	
[　　★]	BASIC	：1/15（JPEG）圧縮	

★が多いほど、画質は良くなりますが、容量が大きいため、撮影可能枚数や撮影可能時間は少なくなります。

<サイズ>

[ ]	FULL	：2400 × 1600 ピクセル（静止画）、320 × 240 ピクセル（動画）
[ ]	HALF	：1200 × 800 ピクセル（静止画）、160 × 120 ピクセル（動画）
[ ]	SMALL	：720 × 480 ピクセル（静止画）

サイズが大きいほど、画質は美しくなりますが、容量が大きいため、撮影可能枚数や撮影可能時間が少なくなります。

3 撮影する

☞ 撮影方法について ➲ 各撮影方法

メモ

- 画像の容量を減らしたいときは、①サイズを小さくする②クオリティをさげる、の順で効果が大きくなります。
- 撮影した後に、サイズの変更（➲ P.94）やクオリティの変更（➲ P.96）ができます。
- 画像の容量は被写体によって異なります。
- 圧縮率は目安です。
- 動画撮影時は、クオリティ設定にかかわらず、画像クオリティボタンを押すと、次の順番で切り替わります。

FULL★★ → FULL★★★ → HALF★ → HALF★★ → HALF★★★ → FULL★ → FULL★★

[ ] モードで撮影する（オートセレクトモード）

状況別の自動撮影ができます。カメラが撮影に適した設定を自動的に行いますので、簡単に撮影できます。
セレクトモードには次の種類があります。撮りたい画像に合わせて使い分けてください。
詳しい操作方法については、P.47 ～ P.51 を参照してください。

[A] ...... カメラにまかせて気軽に撮りたい
.... 人物を目立たせて撮りたい
...... 風景を撮りたい
...... 動いている被写体を撮りたい
... 夜景と人物を撮りたい
.... 動いている被写体を連続して撮りたい。連続撮影後、16 画面が 1 画像として保存されます。

オートセレクトモードでは、カメラが自動的に設定を行いますので、変更できない設定があります。モードによっても異なります。

● フォーカス設定について

[A] .... 設定できます。

● 露出補正について

[A] .... 指定できません（自動設定）。

● ストロボ撮影について

[A] .... 自由に設定できます。
.... 赤目オート固定です。
.... スローシンクロ固定です。
.... ストロボ撮影はできません。

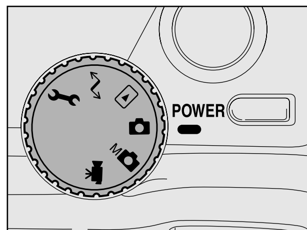
● 連続撮影について

[A] .... 連続撮影はできません。

シーンを選んで撮影する

［ A ］おまかせ、［ 人物アイコン ］人物、［ 風景アイコン ］風景、［ スポーツアイコン ］スポーツ、［ 夜景アイコン ］夜景、［ マルチアイコン ］マルチなどのシーンを選んで撮影します。

1 モードダイヤルを［ カメラアイコン ］に合わせる

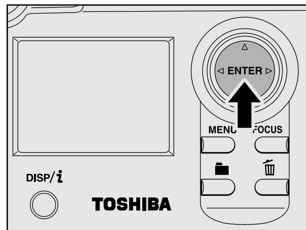






2 ENTER ボタンを押す

［ SCENE▶ ］が表示されます。

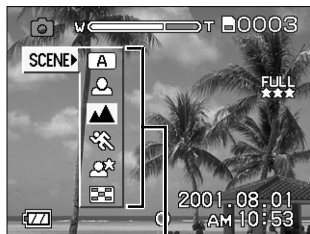






3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンでタブメニューの設定項目を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。選んだ設定項目をキャンセルしたい場合は ◀ ボタンを押します。



タブメニュー

☞ [A] おまかせ ➲ P.49
[人物アイコン] 人物 ➲ P.49
[風景アイコン] 風景 ➲ P.49
[スポーツアイコン] スポーツ ➲ P.50
[夜景アイコン] 夜景 ➲ P.50
[16マルチアイコン] 16 マルチ ➲ P.51

4 ENTER ボタンを押す

選ばれたシーンのアイコンが液晶モニターの左上側に表示され、撮影できる状態になります。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.41）

撮影されます。

メモ

· **PRINT Image Matching**対応のプリンタをお使いいただくと、選ばれたシーンに最適な印刷結果を得ることができます。
☞ **PRINT Image Matching**について ➲ P.134

[A] おまかせ

カメラにまかせて気軽に撮影したいときに設定します。

[人物アイコン] 人物

人物をうきだたせ、背景をぼかして撮影したいときに設定します。



[風景アイコン] 風景

遠くの景色や風景を撮影したいときにに設定します。



[ ] スポーツ

動きの速い被写体を撮影したいときに設定します。



[ ] 夜景

夕暮れや夜景を背景にして人物を撮影したいときにセットします。



メモ

- 夜景モードで撮影する場合、ストロボがスローシンクロ（シャッター速度を変化させながら、同時にストロボも発光する）固定になります。
- 夜景など背景が暗いところや、暗い場所で撮影する場合は、シャッター速度が遅くなり、手ブレ警告が表示されます（シャッターを半押ししたときにファインダーランプが緑色に点滅し、液晶モニターに手ブレマーク［ ］が表示されます）。手ブレ防止のため、三脚の使用をおすすめします。

[ ] 16 マルチ

0.13 秒間隔（7.5 コマ／秒）で連続して 16 回撮影します。撮影した 16 枚は 1 画像（FULL サイズ：2400 × 1600 ピクセル）として、保存されます。
動きのある被写体を連続撮影したいときに効果的です。



メモ

- 16 マルチ撮影では、ズーム再生はできませんが、簡易動画再生（P.86）ができます。
- 16 マルチ撮影時はデジタルズームはできません。
- HALFサイズまたはSMALLサイズでの撮影はできません。16マルチ撮影に設定する前にHALFサイズかSMALL サイズに設定していた場合は自動的にFULL サイズに変更されます。16 マルチ撮影を解除するとHALF サイズか SMALL サイズに戻ります。

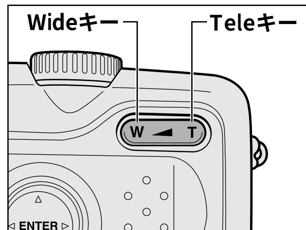
ズーム撮影する

被写体との距離に応じて、最大2.8倍までのズーム（望遠）撮影や広角撮影ができます。また、画面中央部分を拡大し、焦点距離を見かけ上2.2倍にしてデジタルズーム撮影ができます。

1 モードダイヤルを［ ］［ M ］のいずれかに合わせる

2 Teleキーまたは Wideキーで、構図を決める

・Teleキーを押すとズームし、遠くにあるものを大きく写せます。Wideキーを押すと、広い範囲を写せます。
・Tele/Wideキーの状態によって、レンズの位置が動きます。



メモ

・動画撮影時は2.2倍デジタルズーム撮影のみとなります。

デジタルズーム撮影を行うときは

次のように操作します。

①MENU ボタンを押す
②▲▼ボタンで［デジタルズーム］を選び､▶ボタンを押す
③▲▼ボタンで［許可］を選び、ENTER ボタンを押す
④MENU ボタンを押す
⑤Tele キーを押して最大ズームにしたあと、Tele キーを押し続ける

3 シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

メモ

・DISP/*i*ボタンを操作し、液晶モニターを表示オフにすると、デジタルズーム撮影は解除されます。また液晶モニター表示オフの状態ではデジタルズームはできません。
・16 マルチ撮影時はデジタルズームはできません。
・電源を切るか、オートパワーオフ機能が働くと、Teleキーおよび Wideキーの設定は自動的に解除されます。
・液晶モニターでズームの状態を確認できます。



・動画撮影時は 2.2 倍デジタルズーム撮影のみとなります。

距離を指定して撮影する

被写体との距離が約 10（ワイド側）～ 80cm のときにマクロ撮影します。
距離が約 10（ワイド側）～ 80cm のときはマクロ撮影しないとピントが合いません。また約 80cm 以上の距離でも撮影できますが、ピントが合うまでの時間がかかる場合があります。
マクロ撮影のときは、液晶モニターを OFF できません。

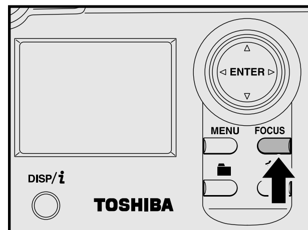
1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 FOCUS ボタンを押す

FOCUS ボタンを押すと、液晶モニターに次の順番で表示します。

AF → 🌷 → 1m → 3m → ∞ （→ AF に戻る）

［ 1m ］、［ 3m ］に設定すると、カメラがそれぞれの距離で被写体に FOCUS を固定して、撮影します。



3 ［ 🌷 ］が表示されるまで押し続ける

4 液晶モニターを見ながら構図を決める

☞ 液晶モニターを使う ➲ P.42

5 シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

メ モ

・電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働いてもフォーカス設定は解除されません。

セルフタイマーで撮影する

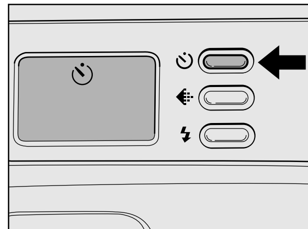
セルフタイマーを使うと、設定時間（2 秒または 10 秒）後に自動的にシャッターが切れます。

1 モードダイヤルを［ ］［M ］［ ］のいずれかに合わせる

2 セルフタイマーボタンを押す

セルフタイマーボタンを押すと、液晶モニターに次の順番で表示されます。





3 構図を決める

4 シャッターボタンを半押し、全押しする（⊃ P.40）

セルフタイマーランプが赤点灯後、点滅し、設定時間（2 秒または 10 秒）後に撮影されます。
液晶モニターで撮影する場合は、カウントダウン表示されます。
途中でやめるときは、▼ボタンを押してください。

メ モ

- 連続撮影はできません。
- 動画の撮影を停止するときは、シャッターボタンを全押ししてください。この操作がない場合、スマートメディアの空き容量がなくなったとき、または動画をいちどに記録できる容量に達したときに、自動的に撮影を停止します。

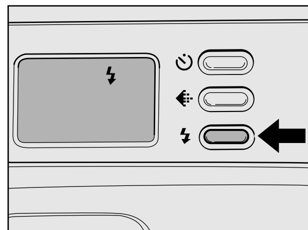
ストロボを使って撮影する

初期設定では、暗いときにストロボが自動的に発光するようになっていますので、特にストロボを発光させるための設定は必要ありません。撮影する状況に応じて、ストロボの発光モードを設定できます。
ストロボが有効な距離は約0.8～3.0m（ワイド側、感度×2時）です。

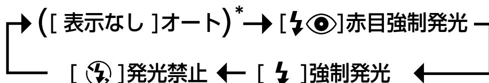
1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］のいずれかに合わせる

［ 📷 ］モードでは、［ A ］を選んだときにストロボ設定ができます。

2 液晶モニターまたは液晶表示部を見ながら、ϟ ストロボボタンで、目的のモードに合わせる



ストロボボタンを押すと、次の順番で表示されます。
液晶モニターと液晶表示部に選んだモードのアイコンが表示されます。



*［表示なし］オートは［ 📷 ］モードで［ A ］を選んだとき選択できます。
［ M📷 ］モードでは設定できません。

3 構図を決める

4 シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

ストロボが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニターのストロボアイコンが黄で表示されます。

[表示なし] オート

撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。特別な意図のない、一般的な撮影に最適です。

[ϟ◉] 赤目強制発光

赤目現象（➲ 付録 用語）を軽減し、暗いところで瞳を自然に撮りたいときに使用します。撮影するときに、被写体（人）にカメラへ視線を向けてもらう、なるべく近づいて撮影すると、赤目軽減の効果があります。

[ϟ] 強制発光

必ずストロボが発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。マクロ撮影のときも発光します。

[⊘] 発光禁止

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボの光が届かない距離での撮影などに使用します。

メモ

- [▲▲] [🏃] [▦] はストロボ撮影できません。
- [👤] は赤目オート固定です。
- [👤★] はスローシンクロ固定です。
- ストロボ撮影時は、ストロボは必ず 2 回発光します。2 回目の発光時に撮影が行われます。

条件を設定して撮影する

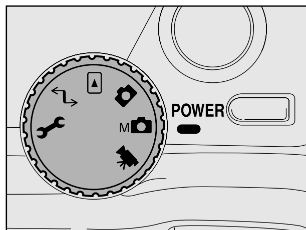
露出制御、白バランス、測光方式、連続撮影モードなどを手動で調節して撮影します。この設定をマニュアル設定とよびます。設定は電源を切っても保存されます。

お知らせ・お願い

・電源が入っているときに電池を出し入れしたり、AC アダプターを抜き差ししないでください。マニュアル設定が初期設定に戻る場合があります。その場合は、設定をやり直してください。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせる

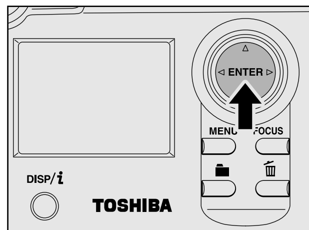
液晶モニターの画面左にマニュアル設定値が表示されます。





2 ENTER ボタンを押す

マニュアル設定項目が表示されます。



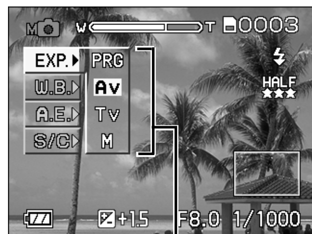


3 ▲▼ボタンで設定項目を選ぶ

4 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンでタブメニューの設定項目を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。選んだ設定項目をキャンセルしたい場合は ◀ ボタンを押します。

☞ [EXP.] 露出制御 ➲ P.60
[W.B.] 白バランス ➲ P.60
[A.E.] 測光方式 ➲ P.61
[S/C] 1 ショット、連写、AEB 撮影モード ➲ P.61



タブメニュー

5 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

6 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

撮影されます。

露出制御（EXP.）

[PRG] ：プログラムモード撮影（初期設定）（➲ P.62）
[Av] ：絞り優先撮影（➲ P.63）
[Tv] ：シャッター速度優先撮影（➲ P.65）
[M] ：フルマニュアルモード撮影（➲ P.67）

白バランス（W.B.）

☞ 白バランス ➲「付録 用語」
カメラは実際にレンズに入ってくる色々な光の平均をとって白バランスを決めます。ここでは、特定の照明下で撮影するときの白バランスをあらかじめ設定します。

[AW] ：自動調整（初期設定）
[☀] ：屋外撮影
[☁] ：くもり空での撮影
[蛍光灯1] ：昼光色蛍光灯下撮影（青みがかった蛍光灯の場合）
[蛍光灯2] ：昼白色蛍光灯下撮影（赤みがかった蛍光灯の場合）
[電球] ：白熱灯下撮影

測光方式（A.E.）

撮影するときの露出を計算します。

[(マルチ測光アイコン)] ：マルチ測光（初期設定）
画面の全体を分割し測光します。バランスの取れた露出が得られます。

[(スポット測光アイコン)] ：スポット測光
画面中央のごく狭い部分を測光します。周囲の影響を受けず、写したい被写体に露出を合わせることができます。

1ショット、連写、AEB撮影モード（S/C）

[(1ショットアイコン)] ：1ショット撮影（初期設定）

[(連写アイコン)] ：連写（➲ P.72）

[AEB] ：自動で露出をずらして撮影する（➲ P.71）

プログラムモードで撮影する

被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度と絞り値を自動セットします。[📷] モードで [A] を選んだ場合と同じように気軽に撮影することができます。プログラムモードでは、白バランス、測光方式などを切り換えて撮影することができます。

1 「条件を設定して撮影する」(P58) の手順 1 ～ 2 を行う

2 ▲▼ボタンで [EXP.] を選ぶ

3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで [PRG] を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。



4 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする (⊃ P.40)

撮影されます。

メモ

・[PRG] と [A] の違い

[PRG] と [A] は、自動的に決まるシャッター速度と絞り値の組み合わせは同じですが、右の操作の可否が異なります。

機能	[PRG]	[A]
連続撮影	○	×
露出補正	○	×
AEB	○	×
スポット測光	○	×
白バランス設定	○	×

(○:可能、×:不可能)

絞り優先で撮影する

絞りを優先して撮影します。絞りに応じて、自動的にシャッター速度を設定します。
絞り値を小さくすると、背景をぼかした人物写真が撮れます。絞り値を小さくするほど、背景をぼかすことができます。絞り値を大きくすると、風景などを手前から遠くまで鮮明に撮れます。絞り値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

1 「条件を設定して撮影する」(P58)の手順 1 ～ 2 を行う

2 ▲▼ボタンで［ EXP. ］を選ぶ

3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで［ Av ］を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。



4 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

5 ▲▼ボタンで絞りを調整する

設定範囲は次のとおりです。
液晶モニターに絞りとその値に応じたシャッター速度が表示されます。シャッター速度を最大限に調整しても適切な組み合わせに設定できない場合、シャッター速度表示が赤で表示されます。撮影はできます。

▲ボタン（絞り側へ）　　▼ボタン（開放側へ）
F8 / F6.8 / F5.6 / F4.8 / F4.0 /F3.4 /F2.9



あわせて ◀▶ボタンで露出補正（➲ P.69）、ENTER ボタンを押してマニュアル設定（➲ P.58）、感度設定（➲ P.78）などもできます。

6 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

撮影されます。

メモ

- 絞り値F2.9（開放）を設定した場合、シャッター速度は高速側 1/750 秒までに制限されます。
- ズームレンズの位置によって、設定した絞り値と実際に撮影される絞り値が異なります。

シャッター速度優先で撮影する

シャッター速度を優先して撮影します。シャッター速度に応じて、自動的に絞りを設定します。
シャッター速度を速くすると、動いている被写体が静止しているような写真が撮れます。
シャッター速度を遅くすると、流動感を感じさせる写真が撮れます。

1 「条件を設定して撮影する」（P58）の手順 1 ～ 2 を行う

2 ▲▼ボタンで［ EXP. ］を選ぶ

3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで［ Tv ］を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。



4 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 ▲▼ボタンでシャッター速度を調整する

設定範囲は次のとおりです。
液晶モニターにシャッター速度とその値に応じた絞りが表示されます。絞りを最大限に調節しても適切な組み合わせに設定できない場合、絞り表示が赤で表示されます。撮影はできます。
▲ボタン（高速側へ）（秒）
1/1000、1/750、1/500、1/350、1/250、
1/180、1/125、1/90、1/60、1/45、1/30、
1/20、1/15、1/10、1/8、1/6、1/4、1/3、
1/2、0″7、1″、1″5、2″、3″、4″、6″、8″、10″、15″
▼ボタン（低速側へ）



絞り　シャッター速度

あわせて ◀ ▶ ボタンで露出補正（➲ P.69）、ENTER ボタンを押してマニュアル設定（➲ P.58）、感度設定（➲ P.78）などもできます。

6 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

メモ

- シャッター速度を 0.7 秒以上に設定すると、長時間露光撮影（➲ P.68）となります。
- AEB 撮影（➲ P.71）と連写撮影（➲ P.72）では、シャッター速度を 0.7 秒以上に設定できません。
- ストロボ撮影で［ ］発光禁止以外に設定した場合、シャッター速度は 1/2 秒から 1/250 秒の間に制限されます。
- シャッター速度が 1/350 秒以下に設定されている場合、ストロボの設定を［ ］強制発光、［ ］赤目強制発光に変更すると、シャッター速度は自動的に 1/250 秒に変更されます。
- シャッター速度が 0.7 秒以上に設定されている場合、ストロボ撮影で［ ］強制発光、［ ］赤目強制発光に設定すると、シャッター速度は自動的に 1/2 秒に変更されます。
- シャッター速度の値を 1/1000 秒に設定した場合、絞り値は F8 〜 F3.4 の間に制限されます。

フルマニュアルモードで撮影する

絞りの値とシャッター速度の値をそれぞれ個別に設定し、撮影します。

1 「条件を設定して撮影する」(P58)の手順 1 ～ 2 を行う

2 ▲▼ボタンで[EXP.]を選ぶ



3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで[M]を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。

4 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 ▲▼ボタンで絞りの値(➲ P.64)を、◀ ▶ボタンでシャッター速度の値(➲ P.66)をそれぞれ設定する

6 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする(➲ P.40)

撮影されます。

メ モ

- フルマニュアルモードで撮影する場合、◀ ▶ ボタンを押すとシャッター速度の値の調整になって、露出補正の調整にはなりません。露出の状態を表示します。
  露出状態の数値が赤字になっている場合は、露出がオーバーまたはアンダーになっています。シャッター速度、絞りを調整し、適正な露出で撮影することをおすすめします。
- 絞り値を F2.9(開放)に設定した場合、シャッター速度 1/1000 秒は設定できません。

長時間露光で撮影する

夜空の花火など、何秒間か露光が必要な被写体を撮影します。
手ブレ防止のため、必ず三脚をご使用ください。

1 「シャッター速度優先で撮影する」（➲ P.65）または「フルマニュアルモードで撮影する」（➲ P.67）の手順 1 から手順 4 を行う

2 [Tv] モードを選んだ場合、▲▼ボタンで、[M] モードを選んだ場合、◀▶ボタンで、シャッター速度を ［0.7 秒］ 以上にする

長時間露光時は、液晶画面上に「◗」が表示されます。



3 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

設定時間露光し、撮影します。
露光中はファインダーランプが橙点灯します。
信号処理のために、撮影されるまで設定時間の約 2 倍の時間がかかります。

メ モ

- ストロボ撮影、連続撮影はできません。
- 長時間露光で撮影する場合、画像が荒くなることがあります。

露出補正する

画面全体を意図的に明るくしたり、暗くして撮影できます。被写体と背景の明るさ（コントラスト）の差が大きい場合や、撮影したい被写体が画面内で極端に小さい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに設定します。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせる

2 ◀ ▶ボタンで調整する

設定範囲は次のとおりです。数値が大きい程明るく、小さい程暗くなります。
液晶モニターに設定した値が表示されます。



露出設定値

◀ ボタン（－側へ）　▶ボタン（＋側へ）

-2.0/-1.5/-1.0/-0.5/0（初期設定）/+0.5/+1.0/+1.5/+2.0

3 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

撮影状況が暗いと、数値を大きくしても、明るくならない場合があります。
シャッターボタンを押して、プレビュー画像（撮影された静止画）で明るさを確認してください。（撮影プレビュー➲ P.77）

効果のある被写体と設定値

●＋（プラス）補正

・白っぽい紙に黒い文字の印刷物の場合
・逆光での人物撮影
・スキー場などの明るい場面や反射が強い場合
・画面内の大部分を空が占める場合

●−（マイナス）補正

・スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合
・黒っぽい紙に白い文字の印刷物の場合
・常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合

メ モ

・［ EXP. ］のタブメニューで［ M ］を選んだ場合、◀ ▶ボタンを押すとシャッター速度の調整になって、露出補正の調整にはなりません。露出の状態を表示します。

自動で露出をずらして撮影する（AEB 撮影）

露出度を決めるのが難しい時にはこのモードを使うと、カメラが 3 段階の露出（− 0.5/0/+0.5）の連続写真撮影に自動的に設定されます。

1 「条件を設定して撮影する」（P58）の手順 1 〜 2 を行う

2 ▲▼ボタンで［ S/C ］を選ぶ

3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで［ AEB ］を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。



4 ENTER ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

シャッターが 3 回切れ、それぞれ（− 0.5）、（0）、（+0.5）の露出で撮影されます。

メモ

- シャッター速度を 0.7 秒以上に設定している場合、AEB 撮影を選択するとシャッター速度が 1/2 秒になります。
- 標準露出、露出オーバー（+0.5）、露出アンダー（− 0.5）の順番で撮影されます。

連続して撮影する

最速約 0.8 秒間隔で連続して撮影します。
連続して撮影できる枚数は、3 枚までです。
画像は直接スマートメディアには記録されず、別の場所に一時的に記録されます。撮影後、画像を確認し、必要なものをスマートメディアに記録します。

1 「条件を設定して撮影する」（P58）の手順 1 ～ 2 を行う

2 ▲▼ボタンで［ S/C ］を選ぶ

3 ▶ボタンを押し、タブメニューを表示させ、▲▼ボタンで［ ］を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER ボタンを押すと設定が確定します。



4 ENTER ボタンを押す

液晶モニターに［ ］が表示され、撮影できる状態になります。
［ Tv ］が設定されたとき、シャッター速度を 0.7 秒以上に設定している場合、連続撮影を選択すると、自動的に 1/2 秒に変更されます。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押ししたままとめる（➲ P.40）

シャッターが最大３回きれます。
途中でシャッターボタンを押すのをやめると、撮影も中断します。
撮影後、自動的に液晶モニターが ON になります。

6 ◀ ▶ボタンで画像を確認する



画面右下には撮影枚数が表示され、緑の画像が現在表示されています。
表示する画像の移動とともに緑表示も移動します。

7 ▲▼ボタンで記録方法を選ぶ

撮影直後は全ての画像を消去するように選択されています。

① [□ ✓]： 選んだ画像を保存／消去するように設定します。

◀ ▶ボタンで画像を選び、ENTER ボタンを押す

選んだ画像の下に ✓ （赤）がつきます。
画像の選択を取り消すには、もう一度 ENTER ボタンを押します。

② [⧉ ✓]： 全ての画像を保存するように設定します。

ENTER ボタンを押す

画像が全て選択され、 🗑 が ✓ （赤）になります。
スマートメディアの空き容量が十分でない場合は選べません。

③ [⧉ 🗑]： 全ての画像を消去するように設定します。

ENTER ボタンを押す

①〜③は順序に関係なく、組み合わせて、画像の保存／消去の設定ができます。

8 ▲▼ボタンで［ ➡ ］を選び、ENTER ボタンを押す

保存／消去が実行され、撮影できる状態に戻ります。

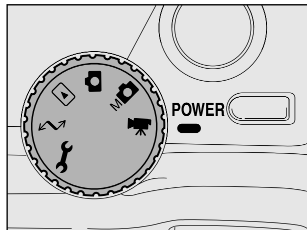
メモ

- 手順７で画像を確認している途中で手順８を行うこともできます。
- 途中でシャッターボタンを離したことにより連続撮影が中断された場合も、すでに撮影済みの画像は上記の方法で保存／消去できます。
- 撮影間隔は、撮影状況によって変わります。
- セルフタイマー撮影とストロボ撮影はできません。

動画で撮影する

動画で撮影します。音声も録音します。

1 モードダイヤルを［ 🎥 ］に合わせる



2 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする（➲ P.40）

撮影が始まります。
液晶モニターや液晶表示部には、撮影可能時間（秒）が表示されます。

3 撮影を停止するときは、もう 1 度シャッターボタンを全押しする

この操作がない場合、撮影可能時間が 0 になったとき、または 1 動画を一度に記録できる容量に達したときに、自動的に撮影は停止します。（撮影可能時間 ➲ P.124）

メ モ

・ストロボ撮影はできません。
・液晶モニターに表示される画像サイズは FULL：320 × 240、HALF：160 × 120 になります。FULL で撮影した動画は画面一杯に、HALF で撮影した動画は画面中央に表示されます。
・動画撮影時、音声にレンズの動作音が入る場合があります。
・動画撮影時はデジタルズーム撮影のみとなります。

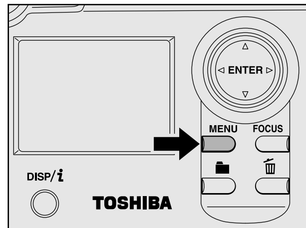
撮影時の基本設定を変更する（撮影メニュー）

撮影モードのとき（[📷] [M📷] [🎥]）にどのような基本設定で撮影を行うかを設定します。

1 モードダイヤルを [📷] [M📷] [🎥] のいずれかに合わせる

2 MENU ボタンを押す

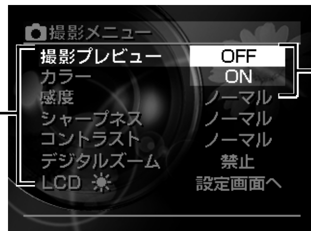
撮影メニューが表示されます。



3 ▲▼ボタンで設定項目①を選び、▶ボタンを押す

タブメニュー②が表示されます。
[LCD 明るさ] では撮影前の画像が表示されます。

☞ 撮影プレビュー ➲ P.77
カラー ➲ P.77
感度 ➲ P.78
シャープネス ➲ P.79
コントラスト ➲ P.79
デジタルズーム ➲ P.79
LCD ☀ ➲ P.79



[📷] 時の撮影メニュー画面

4 ▲▼ボタンでタブメニュー②から設定を選び、ENTER ボタンを押す

設定が保存され、撮影メニューに戻ります。

5 撮影メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影プレビュー

撮影した画像をその直後に、2 秒間液晶モニター上に表示するかどうかを設定します。
撮影した画像の構図や明るさを確認できます。
ただし、プレビュー画面は解像度が低いため、細かい部分は不鮮明になる場合があります。
細部やピントを確認する場合は、スマートメディアに記録後、［▶］再生モード（➲ P.80）で確認ください。
プレビュー中にシャッターボタンを半押しするとプレビューが解除されます。
AEB 撮影時（➲ P.71）は、撮影した 3 枚の画像を約 2 秒ごとに表示します。

[OFF]　：表示しない（初期設定）

[ON]　：表示する

カラー

撮影する画像の色を設定します。

[標準]　：カラー（初期設定）

[あざやか]　：カラー（ややあざやか）

[モノクロ]　：白黒

[セピア]　：セピア

感度［ ］

撮影する画像の色と撮影時の感度を設定します。感度をあげると、画像にノイズが増えます。

［ノーマル］	：カラー ISO100 相当
［× 2］	：カラー ISO200 相当高感度撮影（初期設定）
［× 4］	：カラー ISO400 相当高感度撮影

［ ］時は、［× 2］はカラー ISO100 ～ 200、［× 4］はカラー ISO100 ～ 400 の範囲内で自動設定されます。

感度［ M ］

撮影する画像の色と撮影時の感度を設定します。感度をあげると、画像にノイズが増えます。

［ノーマル］	：カラー ISO100 相当（初期設定）
［× 2］	：カラー ISO200 相当高感度撮影
［× 4］	：カラー ISO400 相当高感度撮影

［ M ］時は、［× 2］はカラー ISO200、［× 4］はカラー ISO400 にそれぞれ固定されます。

メ モ

・動画撮影時は設定にかかわらず、ISO100 ～ 400 の範囲内で自動設定されます。

シャープネス

撮影する画像のタッチを設定します。

[ノーマル]　：普通のタッチ（初期設定）
[ソフト]　：柔らかいタッチ
[ハード]　：かたいタッチ

コントラスト

撮影する画像の明暗の差を設定します。

[ノーマル]　：自動設定（初期設定）
[強]　：明暗の差を大きくする
[弱]　：明暗の差を小さくする

デジタルズーム

画面中央部を拡大して、焦点距離を見かけ上2.2倍にして撮影します。

☞ズーム撮影する ➲ P.52

[許可]　：デジタルズーム撮影を可能にする（初期設定）
[禁止]　：デジタルズーム撮影を禁止する

LCD ☀

液晶モニターの明るさを11段階で調整します。記録される画像の明るさを調節するものではありません。

[－5]～[＋5]

☞詳細について ➲ 液晶モニターの明るさを調節する（P.115）

再生する（1コマ再生）

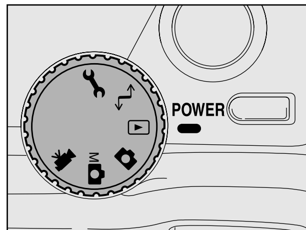
準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

撮影した静止画を1画像ずつ再生します。

1 モードダイヤルを［▶］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

☞ 液晶モニターの明るさ調節 ➲ P.115
液晶モニター表示の変更 ➲ P.116



2 ◀▶ボタンを押して、順送り／逆送りする

▶ 順送り／◀ 逆送り

◀▶ ボタンを押しつづけると、1回ずつ押さなくても前後の画像に移動します。

ENTER ボタンを押すと、9画像のサムネール表示になります。（➲ P.83）

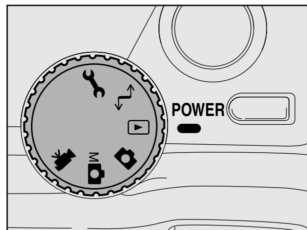
メモ

- 画像再生中、どのフォルダが選ばれても、すべてのフォルダ内の画像を◀▶ボタンを押すことによって再生できます。（フォルダについて ➲ P.92）
- 最終画像の表示時に▶ボタンを押すと最初の画像が、最初の画像を表示時に◀ボタンを押すと最終画像が表示されます。
- 画像再生中に、▲▼ボタンを押すと、画像が回転します。▲ボタンで、画像が反時計回りに回転し、▼ボタンで、画像が時計回りに回転します。

動画を再生する

撮影した動画を再生します。音声も再生されます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる



最終画像が液晶モニターに表示されます。
☞ 液晶モニターの明るさ調節 ➲ P.115
液晶モニター表示の変更 ➲ P.116

2 ◀ ▶ボタンで再生したい動画を選ぶ

3 ▲ボタンを押す

選択した動画データが再生されます。再生中、一時停止中または停止中にボタンを押すと再生状態が次のページのようになります。



準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

	再生中	一時停止中	停止中
▶ボタン	**倍速再生** ・▶ボタンを押している間、倍速再生になります。	**コマ送り** ・▶ボタンを押すたびにコマ送りされます。 ・▶ボタンを押している間、コマ送りし続けます。	
◀ボタン	**逆再生・逆倍速再生** ・◀ボタンを押すと逆再生になります。 ・逆再生中に◀ボタンを押している間、倍速逆再生になります。	**逆コマ送り** ・◀ボタンを押すたびに逆コマ送りされます。 ・◀ボタンを押している間、逆コマ送りし続けます。	
▲ボタン	**一時停止** ・すべて一時停止します。	**一時停止解除** ・一時停止前の状態に戻ります。	**再生**
▼ボタン	**停止** 動画の先頭に戻ります。		
ENTERボタン	**停止** サムネール表示に戻ります。		
Teleキー	**音量を大きくする**		
Wideキー	**音量を小さくする**		

メモ

・液晶モニターに表示される画像サイズはFULL：320 × 240、HALF：160 × 120になります。FULLで撮影した動画は画面一杯に、HALFで撮影した動画は画面中央に表示されます。

一覧表示する（サムネール表示）

液晶モニターに、9 画像を縮小していちどに表示します。本書ではこのことをサムネール表示とよびます。画像の数が多いときなど、サムネールで表示した後、画像を選んで通常の大きさに表示すると便利です。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

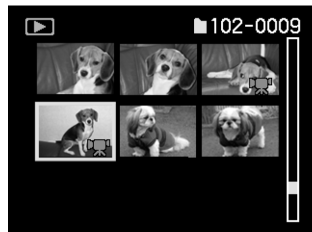
最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 ENTER ボタンを押す

9 画像がいちどに表示されます。

3 ▲▼ ◀ ▶ボタンでカーソルを移動し、通常表示したい画像を選ぶ

カーソルで選ばれた画像は緑枠で囲まれます。
ボタンを押し続けると、カーソルが早く移動します。



＊サムネイル表示で、動画データが存在する場合、［ 🎥 ］が表示されます。

4 ENTER ボタンを押す

選んだ画像が通常の大きさで表示されます。

お知らせ・お願い

・サムネール再生中、どのフォルダが選ばれても、すべてのフォルダの画像を▲▼ ◀ ▶ ボタンを押すことによってサムネール表示ができます。
☞ フォルダについて ➲ P.92

拡大して再生する（ズーム再生）

再生中の画像を 2 段階に拡大して表示します。1 画像ずつ再生しているときに拡大できます。
16 マルチ撮影（➲ P.51）した画像や動画はズーム再生できません。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 拡大したい画像を◀ ▶ボタンで選ぶ

サムネール表示（➲ P.83）時と同様の操作でも選べます。

3 Tele キーまたは Wide キーでズーム倍率を調節する （Tele キー、Wide キー ➲ P.21）

Tele キーを押すと、ズームされます。
Wide キーを押すと、倍率が 1 段階ずつ小さくなります。
画像が表示されると、液晶モニターに白枠と緑枠が表示されます。
白枠は画像全体、緑枠は現在液晶モニターに拡大されている位置を示します。



画像全体　現在の拡大位置

4 ▲▼ ◀ ▶ボタンを押して、拡大する位置を移動する

白枠と緑枠を見ながら、拡大したい位置を調節してください。

5 通常の表示に戻すときは、ENTER ボタンを押す

自動再生する（スライドショー）

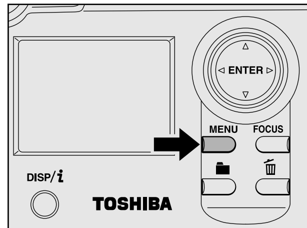
1 画像ずつ順番に自動で再生します。なお、動画には対応していません。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 MENU ボタンを押す

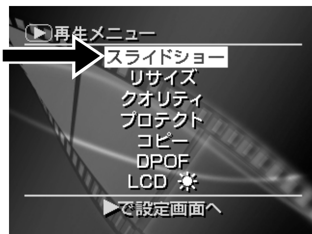
再生メニューが表示されます。



3 ▲▼ボタンで［スライドショー］を選び、▶ ボタンを押す

自動再生が始まり、液晶モニターに［ ⌶⌶ ］が表示されます。

約 3 秒ごとに次の画像が再生されます。



4 自動再生をやめるときは、ENTER ボタンを押す

液晶モニターには ENTER ボタンを押したときの画像が表示されます。

自動再生は ENTER ボタンを押すまで、繰り返されます。

メ モ

- 自動再生中は、オートパワーオフ機能は働きません。
- 同じフォルダに含まれた画像しか自動再生できません。
- 同じフォルダに動画が含まれている場合、動画の再生は行われません。

簡易動画再生する

16 マルチ撮影した画像をアニメーションのように 16 コマ続けて、自動再生します。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 ◀ ▶ボタンで 16 マルチ撮影した画像を選ぶ

サムネール表示（➲ P.83）時と同様の操作でも選べます。

3 Tele キー（➲ P.21）を押す

自動再生が始まります。

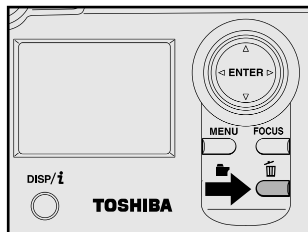
消去する（1コマ消去）

画像を1つずつ消去します。
ただし、プロテクトされている画像（➲P.106）やスマートメディアが誤記録防止状態（➲P.34）のときは消去できません。

1 **モードダイヤルを［▶］［📷］［M📷］［🎥］のいずれかに合わせる**
［▶］の場合、最終画像またはサムネール表示が液晶モニターに表示されます。

2 **［▶］の場合、◀▶ボタンで消去したい画像を選ぶ**
［📷］［M📷］［🎥］の場合、最終画像となります。

3 **🗑消去ボタンを押す**
画面左に消去アイコンが表示されます。



4 **▲▼ボタンで［□］を選び、ENTERボタンを押す**
画像が消去され、それぞれのモードに戻ります。
消去をやめる場合は［↩］を選び、ENTERボタンを押してください。



準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

5 続けて画像を消去する場合は、手順 2 からの操作を行う

メ モ

・液晶モニターに［プロテクトされています］が表示されたときは、プロテクトを解除（➲ P.108）または DPOF 設定を解除（➲ P.102）してください。
・消去後に撮影すると、コマ No. は最後に撮影した最大番号の次から連続番号で No. が割りあてられます。
・サムネール表示の状態でも消去することができます。
この場合、いったん 1 画像の再生状態（1 コマ再生）になり、消去後、サムネール表示に戻ります。

フォルダを消去する（1 フォルダ／全フォルダ）

挿入しているスマートメディアに記録されているフォルダを消去します。
1 フォルダずつ、または全フォルダを消去する方法があります。
ただし、プロテクトされている画像（➲ P.106）やスマートメディアが誤記録防止状態（➲ P.34）のときは消去できません。
モードダイヤルの位置によって、消去の対象となるフォルダが異なります。

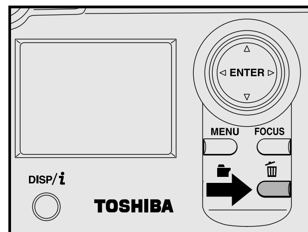
[▶]: 再生中のフォルダ
[📷] [M📷] [🎥]: 撮影中のフォルダ
☞ フォルダについて ➲ P.92

1 モードダイヤルを [▶] [📷] [M📷] [🎥] のいずれかに合わせる

消去したいフォルダに合わせてモードダイヤルを合わせてください。
[▶] の場合、最終画像またはサムネール表示が液晶モニターに表示されます。

2 🗑 消去ボタンを約 2 秒間押す

画面左に消去アイコンが表示されます。



準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

3 ▲▼ボタンで［ ］または［ ］を選び、ENTER ボタンを押す

［ ］： 選択しているフォルダ内の画像とフォルダを消去する
［ ］： スマートメディア上に存在するすべてのフォルダを消去する



画像やフォルダが消去され、それぞれのモードに戻ります。
消去をやめる場合は［ ］を選び、ENTER ボタンを押してください。
［ ］の場合、スマートメディア上に存在するすべてのフォルダを消去後、［画像がありません］と表示されます（プロテクトされている画像がある場合を除く）。

メ モ

・フォルダ内のすべての画像を消去すると、そのフォルダも消去されます。

フォーマットする

挿入しているスマートメディアに記録されている画像やフォルダをすべて消去します。プロテクトされている画像（➲ P.106）も消去されます。スマートメディアが誤記録防止状態のとき（➲ P.34）はフォーマットできません。

お知らせ・お願い

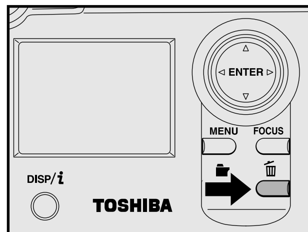
・スマートメディアのフォーマットは必ずこのカメラで行ってください。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

［ ▶ ］の場合、最終画像またはサムネール表示が液晶モニターに表示されます。

2 🗑 消去ボタンを約 2 秒間押す

画面左に消去アイコンが表示されます。



3 ▲▼ボタンで［ ▘ ］を選び、ENTER ボタンを押す

フォーマットをやめる場合は［ ⮌ ］を選び、ENTER ボタンを押してください。

4 コマNo.をリセットする場合は、▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

リセットしない場合は、［キャンセル］を選んでください。



メ　モ

・スマートメディアを初めて使う時にはその前に必ずフォーマットしてください。また、スマートメディアは最大容量を保つよう定期的にフォーマットして雑多なファイルを取り除くことをおすすめします。

フォルダについて

本カメラで撮影した画像（静止画、動画）は、再生時、■フォルダボタンで、任意にフォルダを選び、再生することができます。

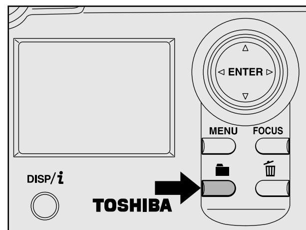
フォルダの選び方

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 ■フォルダボタンを押す

フォルダ選択画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンで目的のフォルダを選び、ENTER ボタンを押す

フォルダが選ばれます。

フォルダ数が６個以上存在する場合は▲▼ボタンでフォルダ番号の下にある「▼」マークにカーソルを移動させると、次ページの画面が表示されます。同じ方法で目的のフォルダを選んでください。



準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

メモ

- 撮影時、フォルダを任意に選択することはできません。■フォルダボタンを押すと、フォルダ新規作成の画面となります。フォルダを新規作成すると、その後撮影された画像は、すべて新しいフォルダに記録されます。
- フォルダを新規作成すると、コマ No. は 0001 から割り当てられます。
- 他のカメラで撮影した画像を再生するときは
  - 画像サイズによっては正しく再生できない場合があります。
  - ファイル名、フォルダ名が正しくない場合は再生できません。
- 画像再生中、どのフォルダが選ばれても、すべてのフォルダ内の画像を◀ ▶ボタンを押すことによって再生できます。（フォルダについて ➲ P.92）

画像サイズを小さくする（リサイズ）

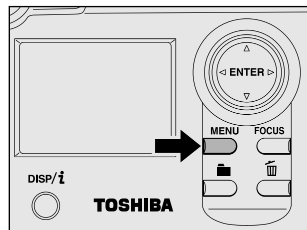
準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

FULL サイズ（2400 × 1600 ピクセル）の画像を HALF SIZE（1200 × 800 ピクセル）、更に SMALL SIZE（720 × 480 ピクセル）に変更し、上書きして保存します。本書では、このことをリサイズとよびます。
撮影中、スマートメディアの容量がなくなってしまったときに、すでに撮影した画像をリサイズすることにより、容量を増やし、撮影を続けることができます。

次の画像はリサイズできません。
- SMALL サイズの画像
- 本カメラ以外で撮影した画像
- 16 マルチ撮影した画像
- プロテクト（➲ P.106）されている画像
- 動画
- スマートメディアが誤記録防止状態のとき

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる
最終画像が液晶モニターに表示されます。

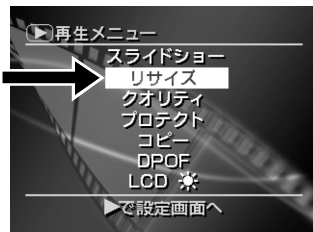
2 MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。



メモ
- 画像サイズは小さくすることはできますが、大きくしたり、一度小さくしたものを元に戻すことはできません。

3 ▲▼ボタンで［リサイズ］を選び、▶ボタンを押す

設定画面が表示されます。
リサイズできる画像がない場合や動画ファイルが対象になっている場合は、メッセージが表示された後、再生メニューに戻ります。



4 ◀ ▶ボタンで画像を選び、ENTER ボタンでサイズを設定する

画像の下には現在のサイズが表示されます。
ENTER ボタンを押すごとに、以下のようにアイコンがかわります。
［ ］...HALF サイズ　［ ］...SMALL サイズ
☞ 画像サイズの詳細 ➲ P.44



選択を解除したいときは、もう一度 ENTER ボタンを押します。
リサイズしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。
画像選択中に Tele キーを押すと、画像が画面いっぱいに表示され確認できます。元の画面に戻るには、Wide キーを押します。
（Tele キー、Wide キー ➲ P.21）

5 ▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

リサイズ実行中の画面が表示されます。
リサイズをやめる場合は［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。
終了すると再生メニューに戻ります。
再生メニューを消すには、MENU ボタンを押してください。

メ　モ

・画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて ➲ P.92）

画像を圧縮する（クオリティ）

画像を半分または更に小さい容量に再圧縮し、上書きして保存します。
撮影中、スマートメディアの容量がなくなってしまったときに、すでに撮影した画像を再圧縮して保存することにより、容量を増やし、撮影を続けることができます。

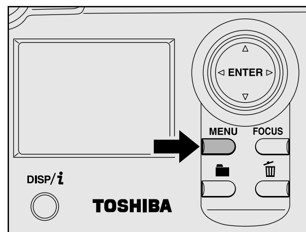
次の画像は再圧縮できません。
- 画質が★（BASIC）の画像
- 本カメラ以外で撮影した画像
- プロテクト（➲ P.106）されている画像
- 動画
- スマートメディアが誤記録防止状態のとき

1 モードダイヤルを［▶］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

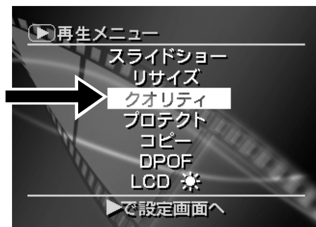


メ モ

- 画像を圧縮して画質を下げることはできますが、画質を上げたり、圧縮したものを元に戻すことはできません。

3 ▲▼ボタンで［クオリティ］を選び、▶ボタンを押す

設定画面が表示されます。
圧縮できる画像がない場合や動画ファイルが対象になっている場合は、メッセージが表示された後、再生メニューに戻ります。





4 ◀ ▶ボタンで画像を選び、ENTER ボタンで圧縮率を設定する

画像の下には現在の圧縮率（画質）が表示されます。
ENTER ボタンを押すごとに★の数がかわります。

★★ .... NORMAL　　★ .... BASIC
☞ 圧縮率の詳細 ➲ P.44

圧縮したい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。
画像選択中に Tele キーを押すと、画像が画面いっぱいに表示され、確認できます。元の画面に戻るには、Wide キーを押します。（Tele キー、Wide キー ➲ P.21）

メ モ

・画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて ➲ P.92）

5 ▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

圧縮中の画面が表示されます。
圧縮をやめる場合は、［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。
終了すると再生メニューに戻ります。
再生メニューを消すには、MENU ボタンを押してください。

画像をコピーする

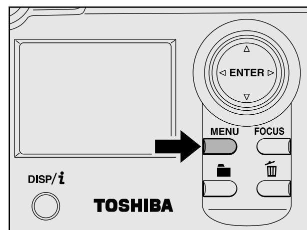
撮影した画像をコピーします。画像を別のスマートメディアにコピーするときに便利です。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像が液晶モニターに表示されます。

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。



3 ▲▼ボタンで［コピー］を選び、▶ボタンを押す

設定画面が表示されます。



4 ◀ ▶ボタンで画像を選び、ENTER ボタンを押す



コピーする画像が確定し、画像の下に［ ］が表示されます。
選択を解除したいときは、もう一度 ENTER ボタンを押します。
コピーしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。
画面下のバーは、コピーできるデータ量を表しています。
選んだ画像のデータ容量によりバーが緑色で埋められていきます。
画像選択中に Tele キーを押すと、画像が画面いっぱいに表示され確認できます。元の画面に戻るには、Wide キーを押します。（Tele キー、Wide キー➲ P.21）

メ モ

・画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて➲ P.92）

5 ▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

読み込み中の画面が表示されます。

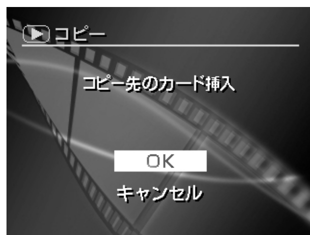
6 コピー先のスマートメディアを入れる

［コピー先のカード挿入］が表示されたら、

①現在挿入しているスマートメディアを取り出す
②コピー先のスマートメディアを入れる

7 ▲▼ボタンで［OK］を選び、ENTER ボタンを押す

書き込み中の画面が表示されます。
コピーをやめる場合は［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。
スマートメディアの空き容量が足りない場合は、メッセージが表示されますので、別のスマートメディアに入れ替えてください。






終了すると、上記のコピー終了の画面が表示されます。
この画面が表示されたら、元のスマートメディアに入れ替えることができます。ここでは、電源を OFF にする必要はありません。

お知らせ・お願い

・コピー中にスマートメディアを取り出したり、電源を切ったりしないでください。スマートメディアおよびスマートメディア中のデータが破壊されることがあります。

8 ENTER ボタンを押す

再生メニューに戻ります。
再生メニューを消すには、MENU ボタンを押してください。

コピー時のコマ No. について

画像のコピーを行った場合、コマ No. はコピーされません。次のようになります。
コピー先のスマートメディアに［××× TOSHI ］フォルダがある場合、
「×××」の最大番号＋ 1 のフォルダが作成されます。
【例】：　［101TOSHI］［102TOSHI］がある場合→［103TOSHI］フォルダが作成される
［××× TOSHI ］フォルダがない場合、新規に作成されます。
コマ No. はどちらも 0001 から割り当てられます。

プリント情報を書き込む

プリント（現像）したい画像に、枚数指定や日付表示を DPOF 形式（➲ 付録 用語）で設定します（静止画のみ）。スマートメディアをお店に持って行くだけで、簡単にプリントできます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで［DPOF］を選び、▶ボタンを押す



4 ▲▼ボタンで［画像選択］を選び、ENTER ボタンを押す



5 ▲▼ボタンで［個別選択］または［全選択］を選び、ENTER ボタンを押す

［個別選択］..... 1 画面ずつ設定します。
［全選択］......... いちどにすべての画像を設定します。



6 枚数と日付を設定する

① ◀ ▶ボタンで画像を選び、▲▼ボタンで枚数を設定する

枚数は 1 画面につき最大 99 枚まで設定できます。
画像選択中に Tele キーを押すと、画像が画面いっぱいに表示され確認できます。元の画面に戻るには、Wide キーを押します。（Tele キー、Wide キー ➲ P.21）

② 設定が終了したら ENTER ボタンを押す

日付設定画面が表示されます。
画像の日付は写真の右下隅に印刷できます。

③ ▲▼ボタンで［はい］か［いいえ］を選び、ENTER ボタンを押す

日付を印刷したい場合は［はい］を選び、ENTER ボタンを押してください。
日付を設定しない場合は［いいえ］を選び、ENTER ボタンを押してください。
「DPOF ファイルを作成しますか？」のメッセージが表示されます。



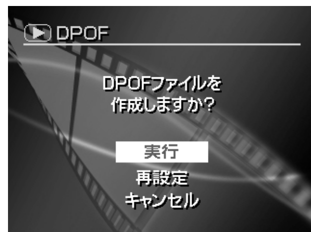


メ モ

- 画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて ➲ P.92）
- 写真に印刷する日付はカメラに設定された日付によります。正しい日付を写真に印刷するためには画像撮影をする前にカメラの日付設定をチェックしてください。（日時設定について ➲ P.111）

7 ▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

DPOF 情報のファイルが作成され、終了すると最初の画面に戻ります。
設定を続ける場合は［再設定］、DPOF ファイルを作成せずに終了する場合は［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。



8 設定を終了する場合は、▲▼ボタンで［終了］を選び、ENTER ボタンを押す

設定の確認や解除を行うときは、手順 9 に進んでください。



9 操作を選ぶ

[確認]：設定内容を確認します。

① ▲▼ボタンで［確認］を選び、ENTER ボタンを押す
② 設定を確認後、ENTER ボタンを押す
③［終了］を選び、ENTER ボタンを押す

[オールクリア]：設定を消去します。

① ▲▼ボタンで［オールクリア］を選び、ENTER ボタンを押す
② 消去する場合は［実行］を選び、ENTER ボタンを押す
［オールクリア］をやめる場合は、［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。
③ プロテクトを解除する場合は［はい］を選び、ENTER ボタンを押す
④［終了］を選び、ENTER ボタンを押す

メ モ

- スマートメディアにすでに DPOF 情報ファイルがある場合、「ファイルを作成し直しますか？」のメッセージが表示される場合があります。［はい］を選択すると、ファイルは上書きされ、既存の情報は消去されますので、ご注意ください。また、パソコン上で DPOF 情報ファイルを上書きし、本カメラに対応していない値が設定されていた場合も同様です。
- DPOF 形式で設定された画像は自動的にプロテクトされます。通常の方法（➲ P.108）ではプロテクト解除できません。
- 指定できるプリント枚数は 99 枚までです。また同一スマートメディア内でプリント指定できる画像数は 999 コマまでです。ただし、同一スマートメディア内で指定できる最大プリント数は 10000 枚までに制限されます。

画像をプロテクトする

画像をあやまって消去しないように読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。

お知らせ・お願い

・スマートメディアのフォーマットを行うと、プロテクトは無効になり、画像はすべて消去されます。
・スマートメディア全体をプロテクトするには、「誤記録防止について」（➲ P.34）をご覧ください。

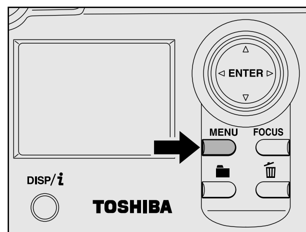
プロテクトする

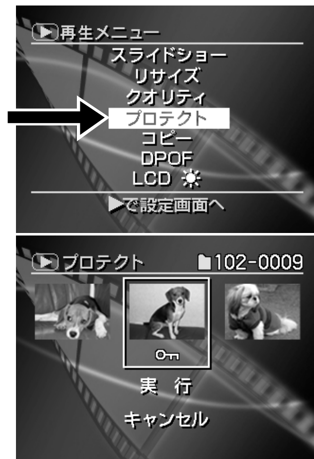
1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最終画像またはサムネール表示が液晶モニターに表示されます。

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。





3 ▲▼ボタンで［プロテクト］を選び、▶ボタンを押す

設定画面が表示されます。

4 ◀ ▶ボタンで画像を選び、ENTER ボタンを押す

プロテクトする画像が確定し、画像の下に［ O━ ］が表示されます。
選択を解除したいときは、もう一度 ENTER ボタンを押します。
プロテクトしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。
画像選択中に Tele キーを押すと、画像が画面いっぱいに表示され確認できます。元の画面に戻るには、Wide キーを押します。（Tele キー、Wide キー ➲ P.21）

メ　モ

・画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて ➲ P.92）

5 ▲▼ボタンで［実行］を選び、ENTER ボタンを押す

プロテクトをやめる場合は［キャンセル］を選び、ENTER ボタンを押してください。
終了すると再生メニューに戻ります。
再生メニューを消すには、MENU ボタンを押してください。

メ　モ

・再び、プロテクト設定画面を表示した場合、すでにプロテクトされている画像の下には［O━］が表示されます。
・すでにプロテクトされている画像を解除したい場合、手順 4 で設定すれば同時に行えます。

プロテクトを解除する

1 「プロテクトする」（➲ P.106）の手順 1 から 3 を行う

2 ◀ ▶ボタンで解除する画像を選び、ENTER ボタンを押す

解除する画像が確定し、画像の下の［ ］が［ ］になります。
解除を取り消したいときはもう一度 ENTER ボタンを押します。
解除したい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。



メ モ

・画像再生中、いずれかのフォルダが選ばれている場合でも、◀ ▶ボタンを押すことによって、すべてのフォルダの画像が選べます。（フォルダについて ➲ P.92）

3 「プロテクトする」（➲ P.107）の手順 5 を行う

メ モ

・あらたに別の画像をプロテクトしたい場合、手順 2 で設定すれば同時に行えます。
・DPOF 形式で設定された画像には［ ］が表示され、プロテクト解除できません。解除するときは、DPOF 形式の設定を解除します。（DPOF 形式の解除 ➲ P.102）

カメラの基本設定をする（モード）

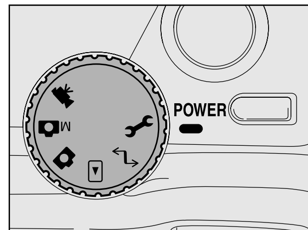
撮影する画像に対する設定のほかに、本カメラを使用するときの環境を設定します。このことをセットアップ（SET-UP）といいます。次の項目を設定できます。

電源の自動オフ／ビープ音／日時設定／液晶モニターの言語選択／ビデオ出力の設定／クオリティ設定／初期設定に戻す

ここで設定した内容は、電源を切っても保持されます。

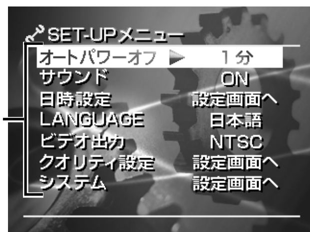
1 モードダイヤルを［ ］に合わせる

セットアップメニューが表示されます。



2 ▲▼ボタンで設定したい項目を選ぶ

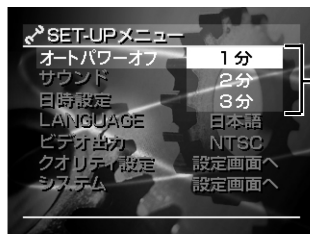
☞ オートパワーオフ ➲ 電源を自動オフする（P.110）
サウンド ➲ ビープ音をならす（P.111）
日時設定 ➲ 日時を設定する（P.111）
LANGUAGE ➲ モニターの言語を選択する（P.112）
ビデオ出力 ➲ ビデオ出力方式を設定する（P.112）
クオリティ設定 ➲ 画像サイズ、圧縮率を設定する（P.112）
システム ➲ 初期設定に戻す（P.114）



3 ▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

☞ 日時の設定方法 ➲ P.114



4 ▲▼ボタンでタブメニューの設定を変更し、ENTERボタンを押す

変更をやめる場合は、◀ボタンを押してください。

5 SET-UPメニューを終了するときは、モードダイヤルを切り替える

電源を自動オフする（オートパワーオフ）

一定時間（初期設定：約1分）、本体に対して何の操作もない場合、電池の消耗を少なくするため、消費電力を最小限にした状態（電源を切った状態）になります。このことをオートパワーオフ状態といいます。ここでは、オートパワーオフ状態になるまでの時間を設定します。自動再生中（➲ P.85）や［ ］PCモードの場合、この機能は働きません。オートパワーオフ状態から通常の状態に戻るには、POWERボタンで再度電源を入れます。

[1分]（初期設定）

[2分]

[3分]

ビープ音をならす（サウンド）

ビープ音を鳴らすかどうか設定します。

[ON]　：動作状態、操作によってビープ音を鳴らす（初期設定）

[OFF]　：どのような状態でもビープ音を鳴らさない

日時を設定する（日時設定）

年月日・時刻を設定します。
秒は設定できません。



1　◀ ▶ボタンで、設定したい項目を選び、▲▼ボタンで数字を設定する

▶ボタンを押すと、次の順に移動します。

年 → 月 → 日 → 時 → 分 → 決定 → キャンセル

2　[決定] を選び、ENTER ボタンを押す

設定をやめる場合は［キャンセル］ボタンを選び、ENTER ボタンを押してください。

モニターの言語を選択する（LANGUAGE）

液晶モニターに表示されるメニューの言語を設定します。

[English]　：英語

[日本語]　：日本語（初期設定）

本書では［日本語］で説明しています。

ビデオ出力方式を設定する（ビデオ出力）

ビデオ出力の方式をカメラをご使用になる国に合わせて設定します。

[NTSC]　：NTSC 方式（➲ 付録 用語）（初期設定）

[PAL]　：PAL 方式（➲ 付録 用語）

撮影画像のクオリティ／サイズを設定する（クオリティ設定）

本カメラでは、撮影画像のサイズ３通り、圧縮率３通りの組み合わせの中から、３通りを登録することができます。

1 「カメラの基本設定をする」（P.109）の手順 1 から２を行い、［クオリティ設定］を選び、▶ボタンを押す

［クオリティ設定］メニューが表示されます。



2 ▲▼ボタンで設定したい番号を選び、▶ボタンかENTER ボタンを押す

サイズ項目が反転表示されます。



3 ▲▼ボタンでサイズを設定し、▶ボタンかENTER ボタンを押す

クオリティ項目が反転表示されます。



4 ▲▼ボタンでクオリティを設定し、▶ボタンかENTERボタンを押す

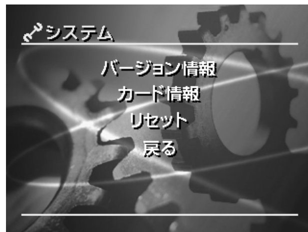
手順２の画面に戻ります。

初期設定に戻す（システム）

SET-UP メニューの設定を初期設定（ご購入時の設定）に戻すかどうか設定します。
日時設定、LANGUAGE は変更されません。

1 **P.109 の手順 1 から 2 を行い、[システム] を選び、▶ボタンを押す**

[システム] メニューが表示されます。



2 **▲▼ ボタンで、設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す**

[バージョン情報]：このカメラのファームウェアの情報を表示します。

[カード情報]：スマートメディアの情報を表示します。

[リセット]：初期設定に戻ります。

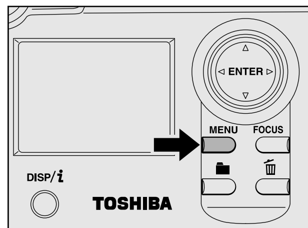
液晶モニターの明るさを調節する

液晶モニターの明るさを調節します。記録された画像の明るさを調節するものではありません。

1 **モードダイヤルを［▶］［📷］［M📷］［🎥］のいずれかに合わせる**

2 **MENU ボタンを押す**

撮影メニューまたは再生メニューが表示されます。
どちらで設定しても同じです。



3 **▲▼ボタンで［LCD ☀］を選び、▶ボタンを押す**

画像と設定画面が表示されます。

4 **◀ ▶ボタンで明るさを調節する**

◀ で暗く（−）、▶ で明るく（+）なります。
［− 5］～［+ 5］の範囲で調節できます（初期設定：0）。



5 **ENTER ボタンを押す**

それぞれのモードに戻ります。

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

DISP/*i* ボタンと液晶モニターの表示（再生時）

準備
撮影
再生
消去
便利に
その他
付録

画像を再生するときの液晶モニターの表示を切り替えます。表示を切り替えて、詳細情報（サイズ、圧縮率、シャッター速度、絞りなど）を一覧表示したり、ヒストグラムなどを表示できます。

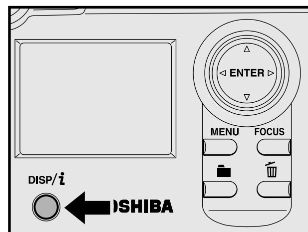
1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 ◀ ▶ボタンで画像を選ぶ

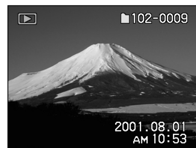
3 DISP/*i* ボタンを押す

DISP/*i* ボタンを押すごとに、表示形式が次の順番で切り替わります。

標準 → 詳細情報 → ヒストグラム → 画像のみ



〈標準〉



→

〈詳細情報〉



→

〈ヒストグラム〉



→

〈画像のみ〉



メモ

・動画データの場合は、詳細情報、ヒストグラムは表示されません。

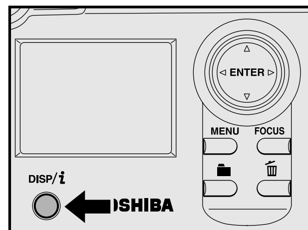
DISP/*i* ボタンと液晶モニターの表示（撮影時）

撮影するときの液晶モニターの表示を切り替えます。

1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 DISP/*i* ボタンを押す

DISP/*i* ボタンを押すごとに、表示形式が次の順番で 切り替わります。



OSDフル表示 → OSD表示オフ → 液晶モニターオフ

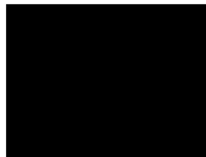
〈OSD フル表示〉



〈OSD 表示オフ〉



〈液晶モニターオフ〉

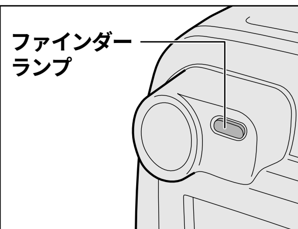


メ モ

- OSD 表示オフの状態でボタンを操作すると変更された内容を２秒間表示します。
- 液晶モニターオフの状態では、デジタルズーム機能が強制的に解除されます。
- 動画撮影時、マクロ撮影時は、液晶モニターオフできません。
- 液晶モニターオフの状態では、マニュアル設定、露出補正、絞り値、シャッター速度、フォーカス設定は変更できません。

ファインダーランプの色について

ファインダーランプの色によって、本体の状態を表わします。
モードダイヤルの状態によって意味が異なる場合があります。



ファインダーランプ		意味
色	状態	
緑	点灯	[ ][M][ ] 半押しでAE・AFロックされたとき [ ] スタンバイ状態
	点滅	[ ][M][ ] セルフタイマー撮影中、手ブレ警告 時
赤	点灯	[電源ON時] スマートメディアへ書き込み中 撮影はできますが、電源をOFFにしないでください。 [ ] スマートメディアのアクセス中
	点滅	[ ][M]フォーカスが合っていないとき
橙	点灯	・撮影後、信号処理中 ・ストロボ充電中 （撮影できません）
	点滅	ハードウェアに問題が生じているとき

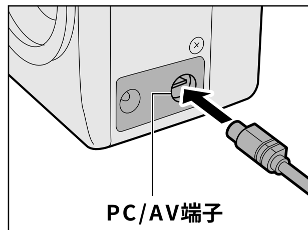
テレビを使って撮影・再生する

テレビで画像を確認しながら撮影したり、テレビで画像を再生することができます。その場合はあらかじめカメラとテレビを接続しておきます。屋内などコンセントがある場所では、AC アダプターをご使用になることをおすすめします。

お知らせ・お願い

・機器の接続を行うときは、必ずすべての接続機器の電源を切ってください。電源を入れたまま機器の接続を行うと、画面が乱れたり、正常に画像が表示されないことがあります。

1 AV ケーブル（付属品）のプラグをカメラの PC/AV 端子に接続する



2 AV ケーブルのプラグをテレビの映像入力端子に接続する

メ モ

・各国のテレビ出力方式にあわせて NTSC ／ PAL 方式を切り替えてください。
☞切り替え方 ➲ P.112

3 撮影または再生する

操作方法は液晶モニターでの撮影、再生と同じです。

☞ 撮影方法 ➲ P.41
再生方法 ➲ P.80

メモ

- 撮影前の画像は再生画像などと比べると、多少不鮮明になります（解像度が低くなります）。
- 出力方式によって表示装置が異なります。
- NTSC 方式のときは、撮影／再生時に液晶モニターとテレビへ同時表示できます。
- PAL方式のときは、同時表示できません。ケーブルが接続されている場合はテレビ表示のみとなります。
- PAL 方式のときは、画像に黒い枠がつきます。

パソコンに画像を取り込む

付属のCD-ROMやUSBケーブルを使って、カメラで撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。
また、市販のＰＣカードアダプターや市販のフロッピーディスクアダプターを使ってスマートメディアに記録された画像をパソコンに取り込むこともできます。（➲ P.122）
詳細は別冊のパソコンインターフェース 取扱説明書をご覧ください。

スマートメディアをパソコンで使用する場合

・パソコンで使用するときは、スマートメディア内のフォルダまたはファイル名（画像データ）の変更・消去を行わないでください。カメラでスマートメディアを使用できなくなることがあります。
・スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
・画像データを編集したいときは、画像データをパソコンのハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。

別売アクセサリー

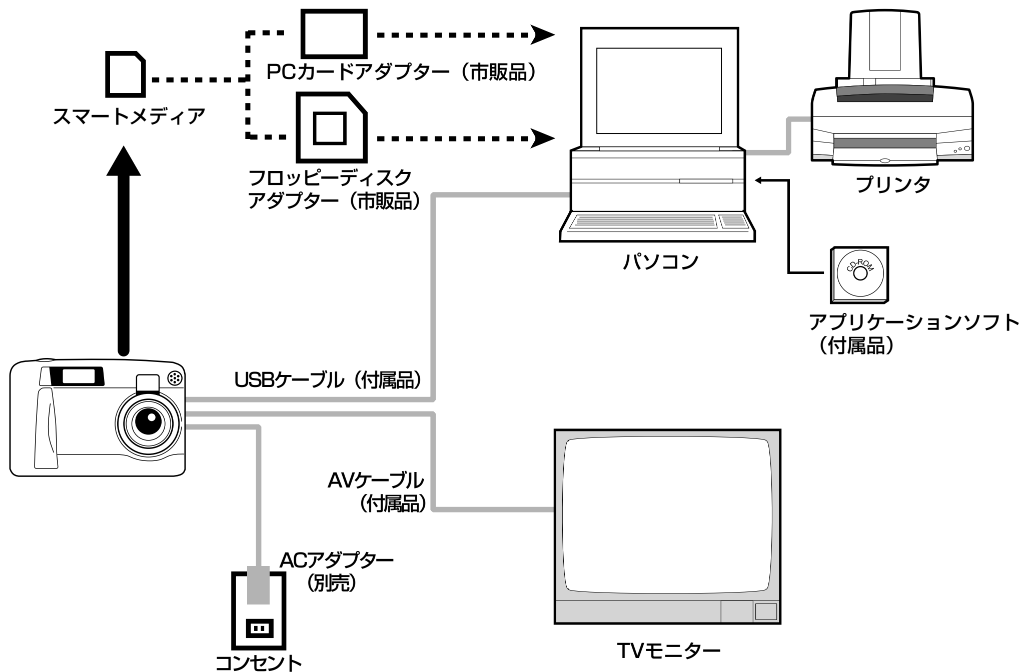
別売のアクセサリーを使うと、撮影や画像の処理がさらに便利になります。
☞ 本体とアクセサリーの関係 ➲「他の機器との接続（P.123)」
詳細は、お使いになるアクセサリーの『取扱説明書』をご覧ください。(平成 12 年３月現在)

●スマートメディア（3.3V 仕様）

16MB（SM-M1600D）／32MB（SM-M3200D）／64MB（SM-M6400D）／128MB（SM-M1280D）

● AC アダプター（PDR-ACM1J）

他の機器との接続



スマートメディア
PCカードアダプター（市販品）
フロッピーディスク
アダプター（市販品）
パソコン
プリンタ
CD-ROM
アプリケーションソフト
（付属品）
USBケーブル（付属品）
AVケーブル
（付属品）
ACアダプター
（別売）
コンセント
TVモニター

仕様

本体

記録媒体	スマートメディア（3.3V）2/4/8/16/32/64/128MB対応								
圧縮方式	JPEG準拠								
画像ファイルフォーマット	Exif Ver.2.1準拠								
〈静止画モード〉 標準撮影可能コマ数 FULLサイズ ：2400X1600ピクセル HALFサイズ ：1200X800ピクセル SMALLサイズ ：720X480ピクセル	画像モード	画像圧縮率	画像サイズ	1コマ最大データサイズ	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
	FINE ★★★	1/5	FULL	1536KB	5	10	20	41	83
		1/4	HALF	480KB	16	33	66	133	266
		1/3.5	SMALL	192KB	41	82	166	332	666
	NORMAL ★★	1/7.5	FULL	1024KB	7	15	31	62	124
		1/6	HALF	320KB	24	49	99	199	399
		1/5	SMALL	128KB	62	124	249	499	999
	BASIC ★	1/15	FULL	512KB	15	31	62	124	249
		1/12	HALF	160KB	49	99	199	399	799
		1/10.5	SMALL	64KB	124	248	498	998	1998

〈動画モード〉 標準動画撮影時間 FULLサイズ ：320X240ピクセル HALFサイズ ：160X120ピクセル	画像モード	画像圧縮率	画像サイズ	1フレームデータサイズ	1クリップ最大撮影時間（秒）
	FINE ★★★	1/10	FULL	16KB	30
		1/7	HALF	6KB	90
	NORMAL ★★	1/14	FULL	11KB	45
		1/10	HALF	4.5KB	120
	BASIC ★	1/19	FULL	8KB	60
		1/14	HALF	3KB	180
互換ルール	DCFVer 1.0準拠				

撮像素子		1/1.8インチCCDセンサー（総画素数：約420万画素）
撮像感度		ISO100/200/400相当
レンズ		光学2.8倍ズームレンズ　F2.9－F4.8
焦点距離		7.25mm－20.3mm（35mmカメラ換算 35mm－98mm相当）
ファインダー		実像式ズームファインダー
オートフォーカス		TTL方式AF、焦点調整範囲：0.10m～∞（ワイド側） 検出方式：コントラスト検出方式（検出時フレームレート30Hz）
露出制御	測光方式	スポット測光、平均測光
	制御方式	プログラムAE、絞り優先AE、シャッター速度優先AE
	露出補正	-2.0EVから+2.0EV（0.5EV単位）
絞り		F2.9－F8自動切り替え、マニュアル切り替え可能
シャッター速度		1/2～1/1000秒（電子シャッター、メカニカルシャッター併用） 長時間撮影時最長15秒
ホワイトバランス		自動 マニュアル設定切り替え可能（5モード）
撮影範囲	標準	約80cm～∞
	マクロ	約10cm～∞（ワイド側）、約25cm～∞（テレ側）
セルフタイマー		タイマー時間 2秒/10秒切り替え
内蔵 ストロボ	発光モード	オート（低輝度時自動）/赤目軽減強制発光/強制発光/発光禁止
	撮影範囲	約0.8～3.0m（ワイド側、感度×2時）

日付・時刻		画像データに同時記録（Exifファイルフォーマット）
自動カレンダー機能		2030年まで自動修正
液晶モニター（＊1）		1.5インチ 低温ポリシリコン TFT液晶（117600画素）
入出力端子	DC IN 5V端子	DC5V
	AV/PC端子	AVケーブル/USBケーブル対応（使用はどちらか一方）
電源		単3電池4本（アルカリ、ニッケル水素またはリチウム電池） または別売のACアダプター（PDR-ACM1J）を使用
使用環境	温度	＋5℃～＋40℃（動作時）/－20℃～＋60℃（保存時）
	湿度	30～80%（動作時）結露しないこと
外形寸法		107×71×47mm（幅/高さ/奥行き）突起部を除く
質量		約240g（付属品、電池、スマートメディア含まず）

＊1 液晶モニターは非常に高精度の技術で作られておりますが、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

AC アダプター（PDR-ACM1J）（別売）

電源	AC100V 50/60Hz
定格入力容量	18VA
定格出力	DC5V 1.5A
使用温度	0℃～+40℃
保存温度	−10℃～+70℃
外形寸法	48X26X70mm（幅X高さX奥行き）
質量	約100g
接続コード長さ	約2m

仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

液晶モニターに表示される警告・メッセージ

液晶モニターや液晶表示部には、次のような警告を表わすメッセージやアイコンが表示されます。

表　示		意　味
液晶モニター	液晶表示部	
		電池残量少し減った
		電池残量わずか
		電池残量なし（電源が入らない）
カードエラー	点滅	スマートメディアが壊れている 未対応スマートメディアが挿入された
カード蓋が開いています	−	スマートメディアカバーが開いている
カードが一杯です	表示0	スマートメディアの空き容量がないので、記録できない
カードがありません	−	スマートメディアが入っていない 入っている向きが間違っている
カードが初期化されていません	−	スマートメディアが初期化されていない フォーマット異常
フォーマットを実行しますか？	−	スマートメディアがフォーマット(初期化)されていない フォーマット異常
コマNo.が一杯です	−	コマNo.が999-9999に達している
プロテクトされています	−	画像がプロテクトされている
対象画像がありません	−	リサイズ、クオリティなどの機能のときに対象となる 画像が存在しない
カード容量不足です	−	コピー時にコピー先のスマートメディアに十分な 空き容量がない
フォーマットエラーです	−	コピー時に、コピー先のスマートメディアのフォーマット異常
ライトプロテクトカードです	−	スマートメディアが誤記録防止状態になっている

表示		意味
液晶モニター	液晶表示部	
フォルダーエラーです	–	コピー時に、コピー先のスマートメディアの空きフォルダがない
DPOFファイルを作成し直しますか？	–	DPOF設定ファイルにサポートできないパラメータが存在する
カード蓋を閉じてください	–	スマートメディアカバーを閉じる必要がある
ファイルNo.が一杯です	–	DPOF設定時、最大設定可能画像数を超えた場合（999コマまで）
画像がありません	–	スマートメディアに画像が何も記録されていない
DPOFエラーです	–	DPOF設定ファイルにサポートできないパラメータが存在する場合
全てのプロテクトを解除しますか？	–	DPOF設定クリアー時、DPOFプロテクトを解除するかどうかの確認
レンズカバー	–	ズームレンズが正しくセットアップできていない レンズキャップが付いたままになっていないか 確認後、再度電源を入れ直す
⊠	–	本カメラではサポートしていない画像を再生した場合
ERROR＊＊＊	–	カメラに何らかの問題が生じている可能性があります。サポートセンターにご連絡ください（巻末参照）
(手ブレマーク)	–	シャッター速度が遅く手ブレを発生しやすい

故障かな？と思ったら

液晶モニターに表示される警告（ ➲ P.128）、ファインダーランプの色（ ➲ P.118）などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状　況	原　因	対処方法	ページ
電源が入らない	電池が消耗している	・新しい電池と交換する	P.25
	ACアダプターの電源プラグがコンセントからはずれている	・電源プラグをコンセントに差し込む	P.28
電源が途中で切れる	電池が消耗している	・新しい電池と交換する	P.25
電池の消耗が早い	温度が極端に低いところで使っている	・電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける	P.16
	端子が汚れている	・電池の端子部分を乾いたきれいな布で拭く	－
	電池の寿命	・新しい電池と交換する	P.25
シャッターボタンを押しても撮影できない	スマートメディアが入っていない	・スマートメディアを入れる	P.31
	スマートメディアを入れる向きが間違っている	・スマートメディアを正しい向きに入れる	P.32
	スマートメディアに空き容量がない	・新しいスマートメディアを入れる ・撮影した画像を消去したり、サイズや画質を変更し、空き容量を増やす	P.31 P.87 P.94 P.96
	スマートメディアが誤記録防止状態になっている	・誤記録防止状態を解除するか、新しいスマートメディアと交換する	P.34
	スマートメディアがフォーマットされていない	・フォーマットする	P.91
	スマートメディアが壊れている	・新しいスマートメディアを入れる	P.31
	オートパワーオフ機能が働いている	・電源を入れなおす	P.110

状　況	原　因	対処方法	ページ
ストロボ撮影できない	モードダイヤルの位置がずれている	・モードダイヤルを正しい位置に設定する	−
	ストロボ発光禁止に設定されている	・ストロボをオート、赤目軽減、強制発光のいずれかにする	P.56
	充電中にシャッターボタンを押した	・充電が完了してから、シャッターボタンを押す	P.118
ストロボの充電ができない	ストロボ発光禁止に設定されている	・ストロボをオート、赤目軽減、強制発光のいずれかにする	P.57
	電池が消耗している	・新しい電池と交換する	P.25
再生できない	指定されたフォルダに画像がない	・再生するフォルダを指定する	P.92
ストロボが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い	・被写体に近づく（約0.8～3.0m（ワイド側））	P.56
再生画像がぼけている	レンズが汚れている	・レンズを清掃する	−
	ピントが合っていない	・被写体までの距離に応じて、FOCUSの設定を行う	P.54
スマートメディアのフォーマットができない	スマートメディアが誤記録防止状態になっている	・誤記録防止状態を解除する	P.34
コマが消去できない	プロテクトされている	・プロテクトを解除する ・DPOFの設定を解除する	P.108 P.102
	スマートメディアが誤記録防止状態になっている	・スマートメディアの誤記録防止状態を解除する	P.34
ボタンを操作しても作動しない	カメラの誤動作	・電源を切り、電池をいったん取りはずし、再び取り付けてから操作する	−
	モードダイヤルの設定位置がずれている	・モードダイヤルを正しい位置に設定する	−
	オートパワーオフ状態になっている	・POWERボタンで再度電源を入れます。	P.110

状　況	原　因	対処方法	ページ
液晶モニターをONにしても何も表示されない	PCモードになっている	・撮影、再生のモードにする	P41 P58 P75 P80
設定した日時が消えている	電源を入れたまま、電池とACアダプターの両方をはずした	・日時の設定をやり直す	P.111

● **AF/AE**
AF（オートフォーカス）…自動でピントを合わせる機能。
AE…自動で露出（絞りやシャッタースピード）を合わせる機能。
AF/AE ロック…ピントと露出を固定すること。

● **DCF(Design rule for Camera File System)**
JEIDA（日本電子工業振興会）で制定されたデジタルカメラ同士やデジタルカメラとプリンタ間でデータを交換する際に必要な、ファイルシステムの規格。メモリーカードなどのメディア内に画像ファイルを記録する際の階層やファイル名などが規定されている。

● **DPOF 形式（Digital Print Order Format）**
プリントのための情報を直接スマートメディアに書き込むための規格。この形式に対応したファイルは、DPOF 形式対応のプリンタやラボプリントサービスで簡単にプリントできる。

● **Exif ファイル形式 (Exchangeable Image File Format)**
JEIDA（日本電子工業振興会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマット。JPEG に準拠。TIFF や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができる。

● **JPEG**
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式。圧縮率が選択できるが、圧縮率が高いと画質は劣化する。パソコン用のペイントソフトやインターネット上で広く使われている。

● **NTSC（National Television System Committee）**
日本やアメリカが採用するテレビジョン方式。

● **PAL（Pase Alternation by Line）**
イギリスやドイツなどの欧州の主な国が採用するテレビジョン方式。

● **PC カード**
PC Card Standard に適合するカードの総称。

● **赤目現象**
人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあること。これは、ストロボの光が目の中で反射することによって起こる。

● **白バランス（White Balance）**
人間の目には、照明が変化しても、白い被写体は白く見えるという順応性がある。これに対してデジタルスチルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランスを調整して初めて、白い被写体が白く見える。この調整のことを白バランス（ホワイトバランス）を合わせるという。

● **スマートメディア™（SmartMedia™）**
SSFDC フォーラムで定められた新しい記録媒体の名称。繰り返し使用可能なメモリーカードの一種。

●フォーマット

スマートメディアの内部を、データを記録するための形にすること（初期化ともいう）。

● 露出補正

画面の中にきわめて明るいものや暗いものがあるとき、カメラが自動的に明るさを調節するため、目的の被写体が暗くなったり、明るくなったりする。これを補正すること。

● PRINT Image Matching

PRINT Image Matchingとは、この機能を搭載したデジタルスチルカメラと対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することのできるシステムです。デジタルスチルカメラでの撮影時に写真データにプリントコマンドが付加され、プリンタは、このコマンドにしたがって印刷します。これによりデジタルスチルカメラが意図したとおりの最適な色合いで印刷できます。

アフターサービス

保証書

保証書はお買い上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまず取扱説明書をご覧になりながら、お調べください。
➲「故障かな？と思ったら」（P.130）
それでも調子が悪いときはお買い上げ店またはサポートダイヤルにご相談ください。

◇ **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◇ **保証期間後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◇ **修理部品の保有期間**
補修用部品は、製造打ち切り後８年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

◇ **修理を依頼されるときは次のことをお知らせください**
- 型名：PDR-M81（Allegretto M81）
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】

『東芝家電修理ご相談センター』：0120-1048-41（フリーダイヤル）

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048

FAX：03-3425-2101（365日・8:00～20:00受付）

＊ 電話受付：365日・24時間受付
＊ フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

【Allegrettoに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフト等

Allegrettoサポートダイヤル ：(03)3258-0467
受付時間 ： 月～金 10:00～12:00 13:00～17:00（祝祭日、年末年始を除く）
Allegretto ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/d_came/



この取扱説明書は自然保護のためエコマーク認定のリサイクルペーパーを使用しています。

株式会社 東芝
モバイルAVネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

23552016